

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（110）」

2. 日時：令和2年7月8日（水）13時30分～17時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、田上上席安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、宮脇技術研究調査官、南雲係員

北海道電力株式会社：藪執行役員 他11名（テレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙1及び別紙2のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・泊発電所3号炉 地盤（敷地の地質・地質構造）に関するコメント回答（Hm2 段丘堆積物の体積年代に関する検討）

時間	自動文字起こし結果
0:00:06	はい、規制庁タガミです。ちょっと時間早いですけど、始めたいと思いますが、事業者さんもよろしいでしょうか。
0:00:15	はい、大丈夫です。よろしくお願いします。
0:00:18	それではただいまから、泊発電所 3 号炉地盤地域敷地の地質地質構造に関するコメント回答ということでヒアリングを実施いたします。
0:00:30	資料提出されておりますので、まず事業者さんから御説明をお願いいたします。
0:00:40	はい、北海道電力の松村です。本日もどうぞよろしくお願いいたします。
0:00:45	本日は、当泊の地質に関しまして、4 月 16 日の審査会合をいただきました指摘に対する回答を作成してきましたので御説明いたします。それではこれから説明しますのでよろしくどうぞお願いいたします。
0:01:05	北海道電力のセガワです。資料について御説明いたします。
0:01:10	2 ページに目次をお願いいたします。
0:01:14	今回は 4 月 16 日審査会合における指摘のコメント回答といたしまして、一番と形式で資料を構成しております。
0:01:24	一生Aは 2 年 1 月 16 日審査会合における説明内容及び指摘事項です。
0:01:31	つつゆおりました 18 ページ、お願いいたします。
0:01:42	こちら指摘事項としては整理はされておきませんが、ラップ粘弾ラップアップ面の際に、劣化部についてわかりやすく整理するようコメントいただきましたので、フローのほうに、劣化部の水量関係を追記すると、一覧表で整理してございます。
0:01:59	劣化部の認定としまして、kA29 ヶ所抽出しております、右のフローですば④の分岐のところで、左側に条件を満たすものが 16 ヶ所条件を満たさないものが 13 ヶ所となっております。
0:02:16	最終的な評価といたしましては、F1 断層に認定されないで額が 6 ヶ所、F1 断層が継続箇所へ成因の検討を行ったもの、これが形成 3 ヶ所あります。
0:02:29	21 ページをお願いいたします。
0:02:34	今しがた申し上げた劣化部関係のものを一覧表で整理しております、ピンクのハッチングがf1 断層の可能性を有する劣化部、青がf1 断層の可能性を有する劣化部とは判定されない劣化部でお示してございます。
0:02:53	できまして、26 ページ、27 ページをお願いいたします。
0:03:04	こちらは前回会合における主な指摘の一つとして考えてございますか、開削調査箇所北側における小断層上端付近の評価について、提示しているCT画像、こちらでは評価が難しいとコメントいただいておりますので、

0:03:20	今回を契機方向に掘り進めてデータ拡充を実施しております。
0:03:26	続きまして、28 ページ、29 ページお願いいたします。
0:03:32	こちららも主な指摘の一つとして考えてございますか開削調査箇所南側における小断層上端付近の評価、こちら斜面堆積物の価格で上部に比べややシルトが少ない箇所へんという点でありますが、こちらが認められております。
0:03:50	センイ部の性状や分布などを含めまして、上載層のYES3 ユニットの地層区分のが構成員について、今回検討してございます。
0:03:59	34 ページ、35 ページをお願いいたします。
0:04:08	こちらは 4 月 16 日審査会合の指摘事項を一覧で整理したのになります。
0:04:15	30 ページ 37 ページお願いいたします。
0:04:21	こちらはすてき何番に対しまして、その指摘の趣旨として検討した方法としてそれがどこに記載されているか、また検討結果の概要を整理したものになっております。こちらについては各章の冒頭で内容について触れさせていただきます。
0:04:38	39 ページをお願いいたします。
0:04:43	2 章、f1 断層開削調査箇所付近に分布する堆積物のさらなる検討ですが、40 ページをお願いいたします。
0:04:55	こちらの章で該当しますのが指摘ナンバーの 1 とナンバー2 から 8 になります。
0:05:01	指摘のNo.1 ですが、指摘の御趣旨といたしましては、改正堆積物、M1 位にとつとMS3 ユニットのユニット区分の妥当性については指摘の趣旨となっております、検討方法といたしまして、火山灰分析を実施しております。
0:05:18	内容については、2-1 章に記載しておりまして、検討結果の概要ですけれども、設備設置測定及び主成分分析の結果、M12 と及びM3 ユニットには明瞭な差異が認められないことから、
0:05:33	当社は、これらの改正堆積物を一連の下位水準上昇に伴う堆積物と評価していることと調和的です。
0:05:41	M1 ユニットと攻め際に、ユニット境界付近における堆積環境の変化と斜方輝石の含有量のエコーの変化は調和的となっております。
0:05:52	次に指摘事項のNo.2 からNo.8 ですが、指摘の趣旨といたしましては、斜面体積物PS3 ユニットの妥当性についてコメントいただいております対応としまして、改正堆積物や森泥との性状を比較すること。
0:06:09	それから追加開削調査箇所に認められて斜面堆積物の性状を比較すること。
0:06:15	またPS3 ユニットがどのような分布しているかといったことになりまして、検討方法といたしましては、露頭剥ぎ取り権者資料薄片の観察エレキ収益の形状調査、火山灰分析測定を実施しております。

0:06:31	記載している箇所は 2-2 商品になります。
0:06:34	円筒の概要といたしましては、開削調査箇所南側の南側壁面の背後法面に
0:06:41	各堆積物と森野層が行いまして、その特徴を整理してございます。
0:06:47	各堆積物と森の特徴に基づきまして、詳細スケッチを作成しております。
0:06:53	また、この地層区分の妥当性を確認するために各種観察分析測定を実施しております。その結果が各地等区分は妥当であることを確認しております。
0:07:04	南側壁面に認められるPSさん一家について波が壁面の背後法面からの連続剤についても確認しております。42 ページお願いいたします。
0:07:19	まず 2 の 1 相改正堆積物のユニット区分の妥当性の検討です。
0:07:25	前回会合における指摘を踏まえましてい性堆積物、M1 東電さんユニットを対象として、開削調査箇所北側と南側の南側壁面の背後法面において、鉛直方向に連続的に火山灰分析を実施しております。
0:07:42	44 ページをお願いいたします。
0:07:48	こちらが開削調査箇所北側において、鉛直方向に連続的に火山灰分析を実施した測線をお示しておりますピンクの丸の範囲が新規に実施した場所になります。46 ページをお願いいたします。
0:08:05	追加火山灰面積の結果をお示しております。注鉱物ちや後期適角閃石の屈折率測定及び施設ちゅう成分分析の結果、L1 ユニットとM31 と 2 明瞭な差異が認められません。
0:08:21	一方、47 ページの下の表に示してます緑囲みの範囲ですが、標高約 47 から 49mの範囲においては有効物の地域斜方輝石の含有量が増加する傾向が認められます。
0:08:38	4849 ページに斜方輝石と角閃石の主元素組成をプロットしております。50 ページお願いいたします。
0:08:50	こちらに斜方輝石の含有量を開削調査箇所北側の北側壁面のスケッチに重ねたものをお示しております。
0:08:59	先ほどご説明いたしました、斜方輝石の含有量は標高約 47 から 49mの範囲において装荷する傾向が認められますが、当該範囲にはM1 とMs範囲の境界が存在します。
0:09:15	NECとM3 以下の境界には堆積環境の変化が存在することから、斜方輝石の含有量を何点かは、これに対応するものと考えております。
0:09:28	次に 51 ページをお願いいたします。
0:09:31	こちらが開削調査箇所南側南側壁面の背後法面になります。

0:09:36	こちらでも、鉛直方向に連続的に火山灰面積を実施しておりまして、新規測線としてSKB-Dで青線で示した箇所、こちらで火山灰分析を追加して実施しております。
0:09:49	52 ページ 53 ページ、見開きでお願いいたします。
0:09:54	追加火山灰分析の結果ですけれども、重鉱物の屈折率測定とし成分分析の結果、本調査箇所に認められるMm1 と先ほどご説明しました開削調査箇所北側に認められるNECにちょっと研さんユニットと比較いたしまして、明瞭な差異は認められません。
0:10:16	54 ページと 55 ページは南側壁面の背後法面と対策自体の結果もあわせて斜方輝石と角閃石の主元素組成をお示しております。
0:10:28	本調査箇所に認められる斜方輝石の含有量には開削調査箇所北側と比較して、明瞭な傾向の変化は認められません。
0:10:38	56 ページをお願いいたします。
0:10:44	こちらは開削調査箇所南側の南側壁面の背後法面に花壇斜交輝石の含有量を含めたものをお示しております。
0:10:54	先ほど申し上げた通り、本調査箇所に認められる斜交輝石の含有量には開削調査箇所北側と比較いたしまして、明瞭な傾向の変化は認められません。
0:11:05	斜方輝石の含有量に明瞭な健康の変化が認められないことは、本調査箇所に認められる改正堆積物をM1 に区分していることと調和的です。
0:11:17	すいません一度 42 ページに戻っていただきまして、
0:11:26	青い矢印の下の箱になりますが、
0:11:30	設立測定と出展分析の結果、各調査箇所に認められるN1 ピットとNS波にタニは明瞭な差異が認められないことから、当社がこれらの改正堆積物を一連の下位水準上昇に伴う堆積物と評価していくことと調和的です。
0:11:48	M1 ユニットとMS3 ユニットのユニット境界付近における堆積環境の変化と斜交輝石の含有量の傾向の変化は調和的となっております。
0:11:59	58 ページをお願いいたします。
0:12:06	次に、
0:12:07	2-2 章で開削調査箇所南側に認められます斜面堆積物の検討を実施しております。
0:12:15	こちらでまずストーク弁の妥当性確認の流れについて御説明いたします。
0:12:21	宴会会合における指摘を踏まえまして、南側壁面と南側壁面の背後法面に認められて斜面堆積物PSI2 との地層区分の妥当性を確認するため、当該層、それから上位のリードをして会議の改正堆積物などにつきまして、各種転籍測定を追加で実施します。

0:12:41	性状や分布を整理してございます。
0:12:45	まず、2-2の1相では地層区分の整理ということで、
0:12:50	南側壁面の背後法面の付近を対象に、
0:12:54	これは相当間隔で代表できる選定いたしまして、あく堆積物と森田のそうそう確認を行い、それぞれの特徴を整理しております。
0:13:03	堆積物と森中の特徴に基づきまして、詳細スケッチを育成しております。
0:13:10	そして2-2-2章ではないの一生の地層区分の整理結果の妥当性を確認するため、
0:13:18	変観察コード測定火山灰分析を実施しております。
0:13:24	し、また斜面堆積物の地層区分の妥当性を確認するために、開削調査箇所北側の東側にあります。追加調査箇所にも認められる斜面堆積物についてもそうそう確認やべき収益の形状調査火山灰分析を行いまして比較を実施しております。
0:13:43	上記の結果、各地層区分は妥当であることを確認しております。
0:13:48	そして2-2の3相で南側壁面の連続ということで、南側壁面で認められるPS3ユニットが背後法面に連続することを確認しております。
0:14:01	59ページには、開削調査箇所南側の全体を監視できるものをお示しております。
0:14:09	なぜf1断層に関連する小断層評価してありますが、南側け決めとなっております、こちらにf1断層に関連する小断層N20° W/50ダブリが認められます。
0:14:23	そしてその背後の液面に南側壁面の背後にあります法面、こちらがPTS2ユニットやTS1ユニットが認められる効き目がございます。
0:14:37	また、付近にありました側溝撤去スタートの増、これを見ている壁面が側溝設置後の壁面それぞれ山側等にバーがございます。
0:14:49	また、右側壁面という、これまでフリーフレームがあった箇所ございまして、こちらを右側に決めと呼んでおります。
0:14:58	ほかにも後段の海側壁面というのはございます。
0:15:02	あとは指摘をいただきます。
0:15:06	海山方向の
0:15:09	分布状況を確認するために90掘削調査箇所ということで、①②③ということで3ヶ所、海山方向で掘削を実施しております。
0:15:22	63ページをお願いいたします。
0:15:31	2-2の1相地層区分の整理、まず早々確認なります。

0:15:37	連続的に分布状況は確認しておりますが、主に側溝設置後、国が壁面から代表壁面を選定しまして、ちょっと区分を整理するための確立等の各所といったものを整理してございます。
0:15:54	調査箇所としましてはぎとり権者資料箇所はぎとり提案者資料作成箇所が①から④の箇所。
0:16:01	そう確認実施箇所は①から③になります。
0:16:06	65 ページをお願いいたします。
0:16:13	こちらはそうそう確認とはぎとり権者資料を作成した位置を示してるもので現地調査で確認いただいています。天端にありました側溝を撤去した後の海との右側を見ている的メンテして、
0:16:27	南北方向に見ているものです。
0:16:30	また今回のご指摘前回会合の御指摘を踏まえまして、10 時掘削海山方向で掘削を行いまして、面的な広がりも確認しているものでございます。
0:16:42	66 ページをお願いいたします。
0:16:49	こちらははぎとり権者資料作成位置①ということで、こちらに示してます写真は例は 2 年 3 月にあってしたもので、前のページのスケッチにおけるより低Km 付近の状況になりますが、こちらの赤破線の位置ではぎとり権者資料を作成しております。
0:17:08	68 ページをお願いいたします。
0:17:12	切取権者資料 68 ページ解釈線あり 69 ページ解釈線なしで掲載しております。
0:17:20	青の破線が森どの規定ね。
0:17:23	いろんな観点がPS3 位に来定年を示しております。
0:17:28	改正堆積物への 12 とは、かつ会からかつ会食を呈する砂で細粒化ら中流酸から成り淘汰ばよいとなっております。
0:17:39	繊維上これは活愛食を呈するシルトまじり砂で細粒化ら貯油さがあっち状に認められてるか下あいでは顕在します。またシルトの履歴及び会場の黒色のブロックが認められます。
0:17:56	定年はI-I性堆積物を侵食しております。
0:18:02	斜面堆積物PSIIにですから管轄会食を呈する駅までシルトまじり砂でさらに劣化した。
0:18:11	円礫及び会場の黒色のブロックが認められます。
0:18:16	色は暗かつ会食を呈するシルトまじりでキッツさんから来まじり砂駅まじりシルト質砂でそうそう変化が著しく異質な早々示します阿多申請中学歴が完全にす。

0:18:31	70 ページをお願いいたします。
0:18:39	こちらははぎとり権者資料作成上の露頭の状況でして、状況といたしましては、はぎとり権者等々ような状況が見てとれますS写真の撮影時期は例は 2 年 6 月 3 物です。
0:18:54	78 ページをお願いいたします。
0:19:03	それは先ほどの壁面の位置から少し南側に一対一で撮影位置①とすみません③となります。
0:19:13	こちらは 65 ページに示しますスケッチにおける距離で 4 ページ、5m 付近のもので、写真割れは 2 年 3 月なもんです、こちらの赤破線の位置で、はぎとり権者資料を作成しております。
0:19:25	80 ページをお願いいたします。
0:19:31	8 ページははぎとり権者資料③をお示しております、
0:19:36	拡大写真②をご覧いただきたいと思いますが、センイ部が認められまして侵食によりM12 の表裏の厚さが変化している状況が見てとれます。
0:19:49	できまして 84 ページをお願いいたします。
0:19:58	こちらははぎとり転社資料④という箇所で、先ほどの位置からさらに南側に
0:20:05	少し一対一になります。1 としましては 65 ページに示すスケッチにおける距離で 0.5m 付近です。
0:20:14	こちらはA系海食崖の基部に近い位置の液面状況を観察してるものになります。
0:20:20	86 ページをお願いいたします。
0:20:27	こちらにはぎとり権者試料の結果を載せております、こちらでは繊維部は認められないものとなっております。
0:20:35	82 ページに戻っていただきたいと思います。
0:20:45	82 ページですが、右上にあります通り写真。
0:20:50	撮影位置図③-1 として、65 ページに示すけっちゃんおける 10 時掘削箇所ある位置取りでマイナス 0.5m 付近になります。海山方向に掘削した断面で、面的に
0:21:05	堆積物の分布状況を確認しております。
0:21:08	こちらの壁面では船員ば分布していることなどを確認してございます。
0:21:15	88 ページ、お願いいたします。
0:21:21	はい。
0:21:24	こちらはPSにピットのある位置ということで、南は壁面の背後法面で実施したはぎとり権者資料になります。



0:21:34	目的としましてはPS3 県新田の性状の比較として、比較的規模の大きいPDS 2 ユニットで2ヶ所はぎとり権者資料を作成しております。こちらは基部に近いものになります。
0:21:48	90 ページをお願いいたします。
0:21:55	こちらにはぎとり電車資料イエスにユニットの①をお示しております。
0:22:02	斜面堆積物、ESA2 ユニットは、
0:22:05	来定年は会の体制耐性劇物を侵食しております。実質は淘汰が悪いシルトまじり歳入差です。
0:22:14	こちらでは繊維部は認められませんでした。
0:22:18	96 ページをお願いいたします。
0:22:28	こちらはGS1 ユニットで剥ぎ取りした資料を作成した位置をお示しております。
0:22:34	98 ページをお願いいたします。
0:22:41	はぎとり権者資料のそうそう確認結果ですが、PS1 につきましても、A部は認められませんでした。
0:22:49	104 ページ、105 ページをお願いいたします。
0:23:03	以上の構想確認はぎとり検査試料の観察から南側壁面の背後法面における早々確認により得られたN1 とPSIIにつとおり炉の特徴を整理してございます。
0:23:17	また、斜面体積物のEs2 ユニット等々PSHAメーターについてもあわせて特徴を下の表で整理してございます。
0:23:27	その中の志賀機は各堆積部、堆積物により異なる特徴になっております。
0:23:34	105 ページ、青矢印の下です。
0:23:37	そうそう確認の結果ですが、
0:23:40	南側壁面の最後法面において認められる各堆積物及び森とは異なる特徴が認められまして、それぞれの境界部付近において、明瞭な早々の差異が認められます。
0:23:53	MH1 と東端良い砂から成りA部はシルトまじり砂であることから、明瞭な早々の差異が認められます。
0:24:02	また、その早々協会は政務繊維部がないのか、NEC日当侵食する侵食面であることから、明瞭です。
0:24:12	繊維部はシルトまじり砂であり、
0:24:15	斜面堆積物TSIIに問われきまじりシルトまじり砂であることから、そう総務差異が認められますが、その早々境界は漸移的であり、明瞭ではありません。
0:24:26	／添付が断続的に

0:24:29	連続的であることから、局所的にPS3 ユニットがNECにその直上に分布しており、基底面はM1 と侵食する侵食面であることから、明瞭です。
0:24:43	TSIIに問われきまじりシルトまで砂であり、森尾は生徒まじり
0:24:49	摘出さから駅まで率ないけまじりシルト質砂でそうそう変化が著しく均質な早々を示します。
0:24:58	PSさんと森ど今明瞭な早々の差異が認められることから、その境界は明瞭です。
0:25:06	EsH2 とPS2 ユニットは何ら早々が認められますが、両層はL1 に挟在し会の改正堆積物を斟酌しております。
0:25:17	なお、表層には専用は認められておりません。
0:25:22	斜面堆積物PS3 ユニットはイエスにピットと科医のM1 と斟酌していること、それから基質がシルトまじり砂であるという特徴において、位置しております。
0:25:35	青矢印の下の箱ですが、TSIIにっとはNEC日程に挟在する。
0:25:42	BSEユニットと特徴が位置しております。
0:25:46	繊維部はBS3 ユニットとの層相対比及び下位のM1 日当を侵食する状況を踏まえますと、31 と2 区分されるのかと判断されます。
0:25:58	続きまして、106 ページをお願いいたします。
0:26:07	106 ページでは南側壁面の背後法面における堆積物の連続性ということでちいS3 ユニットの分布状況を明確にするため、先に整理しました総層境界の考え方にに基づき、南側壁面の背後法面の天馬付近のうち、
0:26:25	かなり壁面で詳細スケッチを作成しております。
0:26:29	悪性してる箇所といたしましては、側溝設置後の海側の壁面と山側のできない。それから後段部の海側壁面になります。また、右側壁面の一部につきましては減少されご確認いただいて、
0:26:46	おります。
0:26:48	そして従事した箇所ですが、こちら指摘を踏まえた新規の壁面、
0:26:53	なっております。
0:26:57	エジェクタ箇所は①から③の箇所でスケッチを作成してございます。
0:27:03	入れさん行った後、繊維部の代表的な早々はシルトまじり砂で。
0:27:09	あります。このため、駅までシルトまじり砂の中にシルトまじり砂が分布する範囲を
0:27:15	色が分布する範囲と評価いたしまして、詳細スケッチにお示しております。
0:27:21	会合のほうでは、会合での指摘では、参考資料に掲載しましたところを写真に根拠を示すことを念頭いただいておりますが、今回、はぎとり資料の作成や詳

	細スケッチを作成いたしまして、スケッチの記事など根拠を進めてきていると考えておりまして、
0:27:39	これらスケッチなどが指摘のNo.7 の回答になると考えております。
0:27:46	108 ページをお願いいたします。
0:27:53	こちらは先ほどから御説明している側溝設置後の海側壁面の写真とスケッチになります。天端にありました側溝撤去してきてきた三園海側見てる壁面です。
0:28:06	こちらでは旧海食崖等も井戸の分布を調べるため距離で約 1m 辺りから南東側のほうを拡幅して今回写真とスケッチをお示しております。
0:28:19	112 ページ、113 ページ、見開きをお願いいたします。
0:28:28	まず 113 ページですけれども、
0:28:32	こちらはスケッチ、写真とスケッチの範囲が先ほどの範囲Tという箇所になりまして、距離呈約 6.5m に前回会合で御説明しました、南側壁面の背後法面に認められる広角な西上がり逆断層センスの小断層、
0:28:49	走向傾斜がN13° W78° E見かけ鉛直変位量が約 1 から 1.5 センチの小断層がとめられます。
0:28:59	暖かく 12 ページ、こちら距離呈約 3m 付近にそう走向傾斜がN36° E70° E変位量が約 1cm の正断層が認められます。
0:29:12	ともに上端はTSLにPS3 ユニットに侵食されてない断層です。
0:29:19	そして 113 ページの距離呈約 50 っすね。
0:29:24	個人と見て 10m から右側のほう、こちらが南側壁面と連続する位置となりまして、
0:29:33	こちらのスケッチのエース整備の範囲といたしまして、赤の括弧で西武を今分関与を示しております。
0:29:42	114 ページをお願いいたします。
0:29:52	こちらは側溝設置後の山側壁面ということで、さっき、先ほど御説明いたしました海側壁面の山側壁面み山側を見ている壁面になります移行スケッチを掲載してございます。
0:30:08	120 ページをお願いいたします。
0:30:14	こちらは後段で海側壁面ということで、同じく写真とスケッチを 125 ページまで示しております。
0:30:26	126 ページをお願いいたします。
0:30:34	こちらは海側壁面になります。
0:30:38	北西側が南側壁面のほうになりまして、

0:30:41	反映の範囲でフリーフレームを撤去いたしまして、こちらで南側壁面のF1 断層に関連する小断層の走向方向の連続が今回認められましたが、こちらの内容については参照で詳述いたします。
0:31:00	134 ページお願いいたします。
0:31:12	134 ページは中止従事掘削調査箇所①を示しております 135 ページは 10 時掘削箇所の②、136 が③となっております、海山方向で掘削した調査箇所のス写真とスケッチになります。
0:31:31	140 ページをお願いいたします。
0:31:43	こちらからは 2-2 章となりまして、地層区分の妥当性に関する検討を実施しております。
0:31:50	2-2 の 1 相で実施いたしました地層区分の妥当性を確認するため、薄片観察、硬度測定火山灰分析、また開削調査箇所北側の追加調査箇所に認められる斜面堆積物と比較しております。
0:32:08	140 ページでは、薄片観察の結果についてまとめております。
0:32:13	薄片につきましては、モリタの薄片観察をするよう御指摘をいただきましたので、生活しております。
0:32:20	調査箇所を行っております、枝番があるものはもりどES3 円右辺の位置と実施しているものでございます。
0:32:30	141 ページに
0:32:33	おりとPSI日当繊維部、M1 ユニットの特徴を整理したものをお示しております。
0:32:40	142 ページ。
0:32:42	お願いいたします。
0:32:48	こちらに発見観察結果ということでもりどPS3 ユニット弁イベントとしてM1 に
0:32:56	代表的な性状を記載しております。また、あわせてオープンとクロスニコルの発見資料を掲載してございます。
0:33:05	144 ページをお願いいたします。
0:33:12	森尾について御出席いただいておりますので一番いい例として御説明させていただきます。
0:33:18	こちらはSKBEW-1-1 で実施したものでして、包括斜交でセル粘土鉱物及びと粒径の碎屑物が決しておい箇所が認められない部及び周辺の砂粒径の碎屑物は抵抗配列していることが拡大写真
0:33:37	ある 1 から見ましても移動式なしの影響を受けているものと考えられます。

0:33:44	また、部及びその周辺で拡大写真を②に示しておりますが、砂粒径の碎屑物の量及び粒径のある箇所が認められ、粒子の形状及び粒径等が今回紙均質な性状を示しております。
0:34:01	このように各堆積物と森尾はねようになる特徴が認められております移行博覧関係のデータを掲載しております。
0:34:11	168 ページをお願いいたします。
0:34:22	168 ページは構造設計硬度測定結果のまとめを示しております。
0:34:28	M1 ユニットPS31 として森どの地層区分妥当性の確認のため南が、
0:34:36	液面の背後法面において、
0:34:39	審査会 1 月 16 審査会合以降に追加で硬度測定を実施しております。
0:34:45	策定実施箇所は右上の図の 4 壁面を対象としておりまして、例えばですけれども、171 ページでお示しますように、
0:34:55	壁面に対してそう間隔で嘔吐測定を実施しております。
0:35:02	Code測定につきましては、M121 と 3 ユニットも里道期間的に測定を実施しております、十分な層厚を有する繊維部が認められる箇所では繊維部についても測定を実施しております。
0:35:18	報道測定の結果を 169 ページに正規ベント曲線等を平均値、標準偏差をお示ししております。
0:35:27	コード策定の結果ですが、各堆積物とおもい度において、以下の特徴が認められます。
0:35:34	詭弁特性の黒線で示しているのがもう里道緑がPS31 ユニット緑の破線がPS 3 位と義務を除いたものです。緑線が繊維物価がN1 となります。
0:35:50	森度を名ちつとはBS3 以下に比べまして、値が小さい傾向が認められます。本当はM1 とケース 3 一遍比べまして、値のばらつきが大きい傾向が認められます。
0:36:04	青森と頭頸部 1 につとがISIに比べて値が小さい傾向が認められることは以前お示してます資料 176 ページにございますが、南か壁面における既往の硬度測定結果と調和的となっております。
0:36:27	168 ページの青矢印の下ですが、各堆積物とも井戸において認められる異なるコードの特徴はそうそう確認における特徴と調和的です。
0:36:38	NHヒットがPS3 ユニットに比べ値が小さい傾向が認められることは早々観察において認められる大高良い砂であるという特徴と調和するものと考えられます。
0:36:51	井戸がPS3 以下に比べ値が小さい傾向が認められることは森度が自然地盤ではなく、人工構造物であることに起因するものと考えられそうそう確認におい

	て認められる亀裂が発達するという特徴も影響する場合がありますと考えられます。
0:37:09	森度がM1 ユニットと家さん言ったように比べ値のばらつきが大きいことは早々観察において認められる早々変化が五つ著しく不均質な想定するという特徴と調和するものと考えられます。
0:37:26	続きまして、177 ページをお願いいたします。
0:37:36	はい。
0:37:39	177 ページでは、火山灰分析の結果ということで、南側壁面の背後法面において、鉛直方向に連続的に分析を実施しております 178 ページをお願いいたします。
0:37:56	データについては 170980 とあせてご覧ください。
0:38:01	という項別アクセス性率測定及び規制分析の結果ですが、
0:38:07	TSIにっととPSHAユニット及び、DS2 ユニットは調和的です。
0:38:13	斜方輝石の含有量はPS2 ユニットが認められる範囲標高 49m程度において検証する傾向が 179 ページの緑囲みの範囲で認められます。
0:38:26	火山ガラスの主成分分析の結果を移動中に洞爺火山灰の混在が認められますが、S1ES2ES3 には洞爺火山灰は認められません。
0:38:38	185 ページをお願いいたします。
0:38:47	185 ページからは、正価開削調査箇所に認められる斜面堆積物と開削調査箇所南側のPS1 位、3 と比較を実施しております。
0:39:00	成果開削調査箇所のそうそう確認ですが、写真を 186 ページスケッチは 187 ページにお示しております。
0:39:10	本調査箇所においては、M1 とM3 ユニットが認められまして、斜面堆積物が道に行ったり挟在して堆積しております。
0:39:21	斜面堆積物はK海食崖にコンタクトして分布しており、範囲のM12 と一部削り込んで堆積しております。
0:39:31	なお、斜面堆積物には、CsI気に入っ課において認められる早々変化を示す箇所、変位部ですが、こちらが認められない結果となっております。
0:39:42	196 ページをお願いいたします。
0:39:57	196 ページは、追加開削調査箇所で行いました。日収益の形状調査試料採取位置を示しております。
0:40:07	2ヶ所で精緻さ治療の最小実施しております 198 ページをお願いいたします。
0:40:18	まず歴史の踏査結果ですが、資料構成歴はさして凝灰岩歴です。

0:40:24	そして斜面堆積物は開削調査箇所南側の背後法面の調査結果掲示受けるページにお示してるものと同様に旧海食崖を形成する基盤が逃しありと同様な歴史が多く含まれております。
0:40:42	100 ページをお願いいたします。
0:40:50	こちらでは益の計上調査結果をお示しております。
0:40:54	グラフのほうにはTS1 イエスに家さんの結果を合わせたものを紫破線であわせてお示しております、本調査箇所の結果は黒の参画と丸でお示してるものです。
0:41:09	エリアA程度を研磨度ともに開削調査箇所南側の背後法面の斜面堆積層等ような値を示しております。
0:41:19	103 ページをお願いいたします。
0:41:28	こちらは追加開削調査箇所の火山灰分析を実施している測線を示しております 104 ページをお願いいたします。
0:41:39	データのほうは 205 ページから 207 ページにお示しております。
0:41:45	結果ですが、ていう鉱物の屈折率測定及び止水主成分分析の結果、追加調査箇所に認められる斜面堆積物とEs一任とESA2 ユニット、そしてTSINIPPOと調和的となっております。
0:42:01	斜方輝石の含有量は 205 ページに示しますとおり、斜面堆積物が認められる範囲、緑囲みの範囲ですが、全において減少する傾向が認められます。
0:42:15	208 ページ、お願いいたします。
0:42:24	208 ページには、斜方輝石の含有量をスケッチに重ねたものをお示しております。
0:42:31	斜方輝石の含有量は斜面堆積物が認められる範囲において延焼する傾向が認められた結果は開削調査箇所南側に認められるDS2 において認められる傾向。
0:42:45	209 ページに示すものと同様となっております。
0:42:50	110 ページをお願いいたします。
0:42:57	以上で 2 位の 2-2 章です頭頸部の妥当性についての説明が終わりまして、210 ページからは井上の参照波が悲鳴の連続ということで説明いたします。
0:43:10	南側壁面に認められますCs3 ユニットと繊維部につきましては、南側壁面の背後の 5 名の連続性を確認しております。
0:43:20	118、212 ページをお願いいたします。
0:43:31	112 ページには、例は 2 年 6 月に策定した露頭の状況写真を示しております。

0:43:38	以下の規定念を買おう 8000 家さん言った人来定年をオレンジ破線で示しております、商談f1 断層に関連する小断層、これは右下の花のほうから左上がり汚染構造で見えてるものいっぱいあります。
0:43:55	そしてこちらの壁面では繊維ばシルトまじり砂の層想定しております、南壁面で連続している状況が認められます。
0:44:05	一度、すみませんが 29 ページに戻っていただければと思います。
0:44:21	29 ページには、南側壁面で、
0:44:25	はぎとり御社資料を作成しております、こちらは前回会合から提示しているものになります。
0:44:33	こちらで繊維部はシルトまじり砂を想定しております、繊維部は小断層の上端の南西側及び北東側に認められますが、小断層の東端付近には認められせ断続的な分布を示してございます。
0:44:53	111、110 ページに戻っていただきたいと思います。
0:45:07	210 ページは、Aは 2 年 6 月に策定した露頭の状況でして、112 ページを、写真の位置として連続するようにお示しております。
0:45:19	そしてこちら側溝設置後の海側壁面と浅部を含むPS3 位にと連続している状況を確認できているものと考えてございます。
0:45:34	以上で、事象の説明については終わります。
0:45:38	117 ページをお願いいたします。
0:45:53	117 ページからは参照小断層の影響範囲に関する検討です。
0:45:59	218 ページをお願いいたします。
0:46:03	すてきナンバーとしましては、No.9 です。
0:46:07	になります。
0:46:08	既往のブロック試料における地域画像では小断層が河成の堆積物でDFに行く途中に連続しているとしているようにも見える辺り駅の直前で少し曲がるように見えると御指摘いただいているため、この小断層上端付近に関するデータを拡充しております。
0:46:28	検討の方向といたしましては、直接目視で確認観察できるよう、露頭観察とはぎとり権者資料を用いて観察を実施しております。
0:46:39	検討結果の概要ですが、北側け決めんと南側壁面ともに、奥行き方向に掘削を行いまして詳細観察を実施した結果、F1 断層に関連する小断層はBF2 度に変位変形を与えていないと判断されます。
0:46:57	また、指摘事項ではございませんが、先ほど申し上げた開削調査箇所南側の右側面的面においてF1 断層に関連する小断層の走向方向の連続が新たに確認されましたので、その結果について検討しております。



0:47:14	この結果を踏まえまして、改めてf1 断層に関連する小断層はPS詐欺に変位変形を与えていないものと評価しております。
0:47:25	120 ページをお願いいたします。
0:47:32	こちらは指摘事項No.9 の回答になります。
0:47:37	検討方針といたしまして、まず既往の評価ですけれども、F1 断層に関連する小断層が影響をおよぼし得る範囲につきまして、北側壁面と南側壁面のM1 ビットとEFに行ったのはそうそう境界付近において、
0:47:54	はぎとり権者資料、それから北側壁面の境界付近でブロック試料を用いた地域画像による内部構造の観察を実施しております。
0:48:04	124、225 ページに前回お示しましたブロック試料とCT画像を掲載しております。
0:48:15	こちらでできの直前で小断層が曲がったりAT赴任ユニットに連続性ように見えるといったご指摘をいただいたして提示しているCT画像だけでは評価が難しい部分もあるといった指摘を受けています。
0:48:33	それを踏まえまして、データ拡充。
0:48:36	を実施しております。いろはこの中段からになりますが、DF2 ユニットが調査位置層として成立していることを明確に確認することを目的といたしまして、
0:48:49	データ拡充を実施しております条件につきましては、はぎとり権者資料のところで御説明させていただきます。
0:48:58	また、今回設定した条件を満たしておりませんが、結構現地調査時の壁面を再生傾斜断面についても参考として後ろのほうに掲載しております。
0:49:09	また、データ拡充を踏まえまして、
0:49:12	宴会の希望ブロック試料中の割れ目CT型の見え方について、当社の解釈、こちらもお示しております 126 ページをお願いいたします。
0:49:29	こちらは北側壁面の追加はぎとり権者資料を行った箇所になります現地調査時の壁面から約 100cm奥行き方向にあるものになります。
0:49:41	126 ページに解釈線あり 227 ページ解釈線なしのものをお示しております、近くの 1 で、はぎとり資料を作成しております 230 ページ、231 ページ見開きでお願いいたします。
0:50:01	まず解釈線のオレンジが小断層、青がDFに規定値です。
0:50:07	230 ページに解釈線あり 231 が解釈線なしになります。
0:50:13	こちらのはぎとり権者資料ですが、データ拡充にあたっての条件として、L1 において、小断層による容量のずれがFEPにっとの永年直下で認められること、それから、TFに 1 度は砂礫そうであるため、EDFにその規定ね直下変位量が地域

0:50:33	はい。場合においても小断層による変位変形が確認できる学的滞留なそう想定する、こういった条件を満たしているためだと考えております。
0:50:46	こちらで小断層ですが、見かけ変位量が約 10mm程度ですが、M1 と 2Eを与えており、ユニットの既定年直下で、
0:50:58	連続しておりますが、Fに行つてには変位が認められない状況となっております。
0:51:03	また、DF日程に剪断面は認められないものとなっております。
0:51:08	以上より、EFユニットに変形を与えていないと判断されます。
0:51:15	同様に、南壁面でも確認をしておりますが、主線については割愛させていただきます。
0:51:24	244 ページをお願いいたします。
0:51:28	はい。
0:51:33	244 ページでは昨日のブロック試料における割れ目の解釈を記載しております。
0:51:40	4 月 16 会合で御指摘ありました小断層の延長方向にPDFに途中で割れ目が連続しているように見えるCT画像
0:51:51	こちら、
0:51:52	のご指摘いただいておりますが、このTFに途中の割れ目につきましては、景気方向の断面では明瞭かつ網目状に有益に三重系統性を有するものではないこと。
0:52:07	そして、今回のデータ拡充の結果表評価の通り、F1 断層に関連する小断層はEFに行ったり、変位変形を与えていないと判断されることから、ブロック試料採取の許可及び乾燥収縮等に起因するケースってあると考えております。
0:52:26	246 ページをお願いいたします。
0:52:33	続きまして 3-2 章、小断層の影響範囲に関する検討ということで、今度は南側開削調査箇所南側のほうになります。
0:52:45	イロハこの中段ほどにあります。1 度、2 章で触れさせていただきましたが、4 月 16 審査会合以降斜面堆積物とK海食崖の分布状況を確認するため、海側壁面のフリーフレームを撤去しております。
0:53:01	この範囲において、南側壁面に認められるF1 断層に関連する小断層の走向方向の連続が認められるから、小断層の上端付近についてはざと点写真を用いて詳細観察を実施しております。
0:53:16	247 ページに位置関係を示してございまして、南側壁面認められるF1 断層に関連する小断層がN20° W50° W、Sって、今回

0:53:30	バックで囲っている 7 月 16 審査会合以降のBPM撤去範囲で走向方向の連続が認められておりますと、小断層の走向傾斜は県読んどい 50 度だっというふうになります。
0:53:45	150 ページお願いいたします。
0:53:50	はい。
0:53:52	それから海側壁面ではぎとり権者資料を作成したのになります。
0:53:59	いろいろ
0:54:00	破線が掲載にその基底面を青破線が森の規定年オレンジが小断層になります。
0:54:07	小断層は見かけ鉛直変位量約 15cmをして、小断層の上端付近はTS31 と 2 明瞭に侵食されております。
0:54:18	以上にPSIにったりに変位変形を与えていないと。
0:54:23	判断されます。
0:54:25	152 ページ 253 ページには上端付近の者をお示しております。
0:54:32	154 ページをお願いいたします。
0:54:41	254 ページには、小南開削調査箇所南側の小断層上端付近の既往評価を整理をお示しております。
0:54:51	まず、市前回会合で提示しましたブロック試料を用いた研磨へん観察ということでこちらの資料については、はぎとり権者資料作成の排気弁において、ブロック試料採取し作成しております。こちらの研磨辺についてはBS31 と 2 変位変形を与えていないと判断されます。
0:55:12	また、今回新たに研磨面を作成して観察を実施しております 256 ページ、257 ページお願いいたします。
0:55:26	いや、左下にあります。
0:55:29	青で示した矢印、こちらの観察面が、前回会合でお示しを示した観察方向で赤で示しますのが今回新たに作った研磨面の観察こうこうやります。
0:55:42	観察状況といたしましては、前回、時したものと同様にHGS3 位にあり、変位変形を与えていないと判断されます。
0:55:52	160 ページをお願いいたします。
0:56:00	こちらは表の剥ぎ南側壁面で実施したはぎとり電車資料になります。
0:56:06	こちらが保健所はぎとり兼車掌においても、PS3 ユニットに変位変形を与えていないと判断されます。
0:56:14	2 章の検討結果を行いますと、南側壁面においても、HGS3 行ったり、変位変形を与えていないと判断されます。
0:56:25	265 ページをお願いいたします。

0:56:36	265 ページからは 4 章、f1 断層開削調査箇所付近に分布する。
0:56:43	堆積物の地層区分と同一の断層の活動性評価です。167 ページお願いいたします。
0:56:55	熱的ナンバーは 10 番でして、指摘の趣旨といたしましては、地層区分ケースにおけるF1 断層の活動性評価を実施することということで、今回 1 棟区分の検討とf1 断層の活動性評価を実施しております。
0:57:11	検討結果といたしましては、既往評価の岩内層の細区分について改めて実施しております。
0:57:18	改めて実施した地層区分、ケース 1 から 3 に基づく調査一層法により、f1 断層の活動性評価を実施しております。
0:57:28	168 ページ、お願いいたします。
0:57:35	検討内容ですけれども、
0:57:37	評価の岩内層について改めて実施しております。
0:57:41	各県数の検討については、
0:57:44	平成 30 年 5 月 11、審査会合以降の指定に基づき実施しているものですが、改めて敬意も 170 から 271 ページすいません誤りがありましたが、こちらに掲載しております。
0:57:59	そして、改めて整理した地層区分に基づいた調査位置等により、f1 断層の活動性評価を実施しております 172 ページをお願いいたします。
0:58:13	まずストーク面に関する検討結果ですが、挨拶調査箇所北側南側における結果を踏まえた各ケースにおける値と区分の結果をページから 275 ページに示しております。また検討の詳細については参考資料
0:58:30	そして 343 から 378 ページにお示しております。
0:58:35	検討結果を表にお示しておりますが、評価といたしまして、形成整合的特異的な特異な状況で 5 的ではないものもございしますが、ケース 1 から計算に基づいた調査位置層厚によりf1 断層の活動性評価を実施いたします。
0:58:54	176277 ページお願いいたします。
0:59:01	こちらはけど 1 断層の活動性評価に関する検討結果です。
0:59:07	ケース 1、ケース 2 のいずれのケースにおきましても、F1 断層は後期更新世以降の活動は認められないことから、将来活動する可能性のある断層等ではないと評価されます、177 ページから 279 ページには、各ケースの活動性評価のイメージ図を掲載してございます。
0:59:30	281 ページをお願いいたします。
0:59:39	この召集氷河作用の
0:59:42	影響に関する検討ですと 183 ページをお願いいたします。

0:59:50	指摘のNo.といたしましては 11 番指摘の趣旨といたしまして搭載地層の周氷河作用の影響のある部位。
0:59:59	今回の検討方向ですが、文献レビュー、それから、露頭観察はざっと権者試料観察を実施しております検討結果といたしましては、ATMに共済地層のDF2 といえ 3 ユニットはセイヒョーが採用の影響を受けていないと判断されます。
1:00:18	184 ページお願いいたします。
1:00:23	まず指摘ですけれども、この斎藤 2019 は指摘している周氷河作用の影響を受けたものか否かの見解を示すことございます。
1:00:33	全権による指摘の趣旨といたしましては、一番下の丸を読み上げますが、十勝部屋の事例を引用しまして、SDFa湾が指標が作用による擾乱を受けた時期がイズミであることから、185 ページに示しております。磯。
1:00:50	いったものを含む敷地召集氷河性斜面体積率の形成時期も 2002 であるとしております。
1:00:58	検討方針ですが、当該文献ではF1 断層開削調査箇所周氷河性斜面堆積物が分布すると指摘しておりますが、f1 断層開削調査箇所は敷地の改善に伴い消失している状況です。
1:01:13	今回の周氷河作用の影響に関する検討におきましては、宴会の会合における指摘を踏まえまして、
1:01:21	L1 断層開削調査箇所付近に位置します開削調査箇所北側南側の地それぞれ調査位置等つくれEFにDF2 ユニットPSI日当対象に実施しております。
1:01:34	人といたしましては、まず①として、周氷河最後に関する文献レビューにおき周氷河作用の影響を受けた堆積物の特徴を確認するための観点について検討いたします。次に②といたしまして、EFに一途及びTSIについて、
1:01:52	①で検討した観点から、周氷河作用の影響が認められるか否かの確認を行っております。
1:02:00	4 章におきましてはケース 1 の場合について記載してございます。
1:02:04	285 ページのいる箱ですが、検討確認結果になります。
1:02:11	まず①文献レビューの結果を踏まえた周氷河作用の影響を受けた堆積物の特徴を確認するための観点について検討結果は以下の通りです。堆積時期の観点円筒対象が地層の堆積時期おきかどうかについて確認する。
1:02:28	二つ目、かつ活動。
1:02:31	佐藤層厚の観点として、敷地の位置する北海道における周氷河作用の影響を受ける震度は地表から概ね 2 から 3m程度となるものと考えられることから、検討対象層の信頼について確認します。
1:02:47	そして 3 点目早々の観点ですが、中評が採用に伴う近傍流シヨンそういうアクション等の影響を受けた場合、地層及びその内部での堆積構造は擾乱される

	と考えられることから、周氷河作用を示唆する超ウランのみについて確認します。
1:03:03	192 ページをお願いいたします。
1:03:11	今しがた申し上げた観点におきまして、
1:03:15	開削調査箇所北側に認められるというふうにタニしている表が対応の影響があるか否かの確認を行っております 108、294 ページの写真とスケッチを
1:03:28	ページをお願いいたします。
1:03:32	まずかった堆積時期と活動層厚の観点ですが、地質調査の結果、NECに渡島エネ 31 においては明瞭な侵食面及び長期の解体に伴う行くかを視察すると浄化槽が認められないことなどから、
1:03:48	一連の下位水準上昇に伴う堆積物です。
1:03:52	上載層のDFに進度はN31 の上限からから 8m程度です。
1:03:58	周氷河作用の影響といたしましては、ftピットはMIS9 以前の改正層に挟在することから、当期の大切堆積物ではございません。
1:04:09	PFS2 ユニットは攻め再任と堆積以降の評価においては、地表から少なくとも方向から 8m程度の深度に位置しまして、周氷河作用の影響を受ける概ね 2 から 3m程度に位置しておりません。
1:04:24	次に早々の観点ですか、機器地質調査の結果、N1 とは並行よりが発達いたします。
1:04:33	ただ、DF2 ユニットは堆積時に開のM12 棟を侵食して取り込んだものと考えられる砂のブロックが存在し、一部のブロックにおいては、病理が認められます。
1:04:44	中医協型への影響といたしましては、M1 ユニットとBF2 ユニットに終了が採用しさせる擾乱は認められません。以上より、本調査箇所に認められるチーフニューユニットは周氷河作用の影響を受けていないと判断されます。
1:05:01	続きまして 296 ページをお願いいたします。
1:05:07	開削調査箇所南側における検討ですね、298 ページに図面と写真で、
1:05:15	整理してございます。
1:05:17	なお、本調査箇所はPS3 ヒット含む標高 51m以上の地層が消失しておりますので、活動層厚の観点における確認は行っておりません。
1:05:28	まず、堆積実験を観点ですが、地質調査の結果、F1 開削箇所と本調査箇所における地層区分の検討より、本調査箇所においては、五木以前の改正層が一連の改正順調省に伴う堆積物として標高逆 54mまで運転したものと推定されます。

1:05:48	周氷河作用の影響といたしましては、MIS9 以前の改正層に実際につとが増大しますので、長期の体制ってつってはありません。
1:05:58	次に早々の観点ですが、地質調査の結果、MHI新田において表裏が認められます。
1:06:05	TSIIにちょっとやめ位置にその評価言われんような侵食面が認められます。
1:06:11	地表が作用の影響といたしましては、M1 ユニット計算一貫し侵食面に周氷河作用の影響した性状欄は認められません。
1:06:21	以上より、斜面堆積PSIIにっとは清涼火災の影響を受けていないものと判断されます。
1:06:30	いきまして 301 ページをお願いいたします。
1:06:36	はい。
1:06:39	6 章f4 断層及びF11 断層開削調査箇所分布する堆積物の地層区分ですね、303 ページをお願いいたします。
1:06:51	知的ナンバーといたしましては、No.12 とNo.13 になります。
1:06:56	No.12 の指摘の趣旨ですが、F4 断層に関する資料記載の充実ということで、今回の検討方法といたしましては、既往データに基づく検討になります検討結果といたしましては、基本気相中の主な早々強化などをトレースしてございます。
1:07:13	次に、No.13 ですが、こちらはF11 断層に関するものでして、検討結果といたしましては、F11 断層開削調査箇所付近に資する調査箇所について、それぞれのスケッチと柱状図から代表柱状図を作成し、
1:07:28	断面図を用いて整理しております。
1:07:31	304 ページお願いいたします。
1:07:36	こちら指摘No.10 に関する回答ですが、
1:07:41	F4 款f4 断層開削調査箇所については、これまで、開削調査箇所非記念写真に板上面と堆積関係堆積物正面の解釈線をトレースしたものをお示ししておりました。
1:07:54	今回、指摘で踏まえまして、改めて基盤頑丈面と堆積物正面の解釈線に加えまして、4 期層中の主な槽層境界をトレースしております。
1:08:05	TRACEにあたっては、原油の壁面写真ではそうそうが不明瞭な部分もありますので、スケッチに示された早々の分布標高を考慮しております。スケッチを写真に重ねましてそうそう細かく見て比較的明瞭な
1:08:20	主な槽層境界を行ったものになってございます。
1:08:25	306 ページお願いいたします。
1:08:32	こちらは指摘事項ナンバー13 の回答になります。

1:08:37	F1 断層開削調査箇所付近に位置する調査箇所について、スケッチと柱状図から代表柱状図を作成いたしまして、改めてF11 断層開削調査箇所にベントする堆積物について整理しております。
1:08:52	整理方向といたしましては 307 ページに示すA断面、B断面を用いております 309 ページをお願いいたします。
1:09:04	これまでの検討結果を 309 ページ、311 ページの断面図上にお示して整理しております、これまでの内容の再整理となっておりますしよ内容の詳細については割愛させていただきます。
1:09:20	325 ページをお願いいたします。
1:09:28	7 章、その他の指摘事項に関するコメント回答にあります 327 ページお願いいたします。
1:09:38	こちらでは指摘No.の 14JA剛性 6 について回答しております。まず、J4 の指摘の趣旨ですが、斜面体積物の補償の点線の整理することということで千里を記載してございます。
1:09:54	指摘のNo.15 につきましては、斜面体積物の分布範囲に関する遠地調査時からの変更理由の整理ということで、同じく変更理由を記載してございます。
1:10:06	そして、No.0 ですかボーリングコア写真とボアホールテレビ画像の震度対応関係の整理ということで、震度対応兵庫計測深度 20cm事案差異が認められる R1 敷地は 6 から 8 ボーリングの深度対応表を作成してございます。
1:10:24	詳細な説明については割愛させていただきます。
1:10:30	説明につきましては以上になります。
1:10:33	はい。
1:10:39	はい規制庁高見です。ご説明ありがとうございました。
1:10:44	まず絶対的なところからですが、
1:10:49	もう
1:10:52	前回 4 月 16 回の会合以降ですね、どういことをされたかというのが、
1:10:58	各省の全体のところで積層には書かれてるんですけど、ちょっと資料では読みづらいところがあって、個別にはまた指摘しますが、
1:11:12	変えてと、16 日、1 月の会合以降どうい事されたのかというのがもう少しわかりやすいような出だしがいいんじゃないかなという印象は持ちました。
1:11:23	それですね、
1:11:27	34 ページまで飛んでいただいて、
1:11:34	ここに前回会合の指摘事項一番から 16 番まで並べて、
1:11:40	それで、今回の説明って書いてて、どこ見ればいいのかというのが次の 36 ページのところに記載箇所って書いてくれてるんですけど。



1:11:50	指摘No.を例えば2から8っていうふうにくったり記載箇所が2.12章とかいうふうにも、大枠で書かれてるんで、確かに全部見なきゃわかんないのはそうかもしれないけど、きちんとですね露頭観察とか薄片観察とか火山灰分析が、
1:12:07	どこにもつけられてるのかっていうのをわかりやすくですね、記載箇所を指示していただきたいっていうふうに思います。
1:12:23	今回、
1:12:33	はい、規制庁タガミです。それでは続けますので、内容に入っていきます。
1:12:39	資料の順番に
1:12:42	確認したいということをお聞きしていきますので、お願いします。
1:12:47	途中で入っていただいて構いません。
1:12:51	まず2ポツのF1断層開削調査箇所付近に分布する堆積物のサーバー検討っていうのがあって、
1:12:58	それで、2-1のところ、
1:13:01	ユニット区分の妥当性の検討っていうところです。
1:13:07	最初に、火山灰分析をどこで復帰したいんですが、
1:13:12	48ページ、お願いします。
1:13:21	それですね、これ最初確認なんですが、笠名面分析凡例のところどこでやったかっていうのを書いてるんですけど、二つ目のところが51、1mc-30って書いてるんですけど。
1:13:38	これは、
1:13:40	51円のC-T-30って考えてよろしいですか。確認だけ。
1:13:47	いかがでしょうか。
1:13:52	電力ワタナベです。申し訳ございません。今タガミさんおっしゃる通り引いで間違いございません。はい、その確認できますのでそれを直しておいてください。
1:14:02	そうですね。表示の仕方なんですけど。
1:14:09	凡例の種類ですねいろいろなり、そのマークでもいいんですけど。
1:14:14	縁部の算定のとM-1っていうので大きく分けて示して欲しいんですね、その違いっていうのがあるのか、皆さんはこうやって全部示された上で特徴が似てるっていう説明されてると思うんですけど。
1:14:30	私どもとしては
1:14:33	改正の堆積物の中で差があるのかどうかっていうのを確認したいと考えております。
1:14:41	それとですねもう一つは、これ見たらですね、一番下のモス31っていうところのデータまでしか出てないんですけど、この化け学分析っていうのはもう少し下のほうまで見る必要があると考えております。

1:14:59	何でかって言うと 47 ページに戻ってもらって、
1:15:05	一方、
1:15:06	現状では 31 番というところまでやってるんだけど、それはPXが多く出てるような辺りのところまでのデータしか出てなくて、その下の部分、M1 ユニットの下の部分のところのデータが
1:15:23	内っていうのはやっぱりちょっと比較としてはできないんじゃないかなと考えていて、
1:15:28	今後検討いただきたいっていうふうに考えてます。
1:15:32	もう一遍一旦切りますけど、いかがでしょうか。
1:15:39	ワタナベです火山灰の分析の今ルールとして、まず屈折率重鉱物の屈折率はある程度均等ピッチで満遍なくやろうという思想で実施してございました。その上で、含有量が比較的多いところに対しては遅らせて主成分というようなルールで、
1:15:57	実施していたんですけども、今御指摘あったようにM1 ユニットの下のほうですね、数は少ないけれど、そこについても修正文でデータを拡充することということだと思いますので、対応させていただきたいと思います。
1:16:14	持っている。
1:16:18	もし持ってたなら、そういうのをきちっと出していただきたいという趣旨で今後出していただくと。
1:16:26	すいませんワタナベの現状では数が少ないところに対して主成分のデータは有しておりません。ですのでやるとすれば追加で実施することになります。
1:16:40	はい。部分については確認できました。
1:16:42	それでは続けますね。
1:16:46	59 ページまで飛んでいただいて、
1:16:52	これも最初説明したんですが、
1:16:57	今回、4 月の会合以降どういことをやったかっていう整理し、
1:17:04	整理っていうかな、見た目で見えるようにしていただきたいところではシートを見る限り、例えばその右側に書いてる従事掘削調査箇所が 3 とか、海から壁面ですね、こういった部分は 4 月の会合以降追加された部分だっというふうに
1:17:22	思うんですけど、こういった部分をこの輻射の最初の俯瞰図のところできちんと示すようにしていただきたいっていうのが 1 点です。
1:17:33	それともう一つは、介護のコメントとしては、現地調査で見せてもらった時から 4 月の会合までで例えばPS-2 ですか。分布とかの

1:17:50	スケッチ
1:17:51	日光変化が出たような部分があったんで、それがどういった理由で修正されたのかっていうような形で聞いておりますので、そういったものの部分も
1:18:04	今回の資料に見る限りは特段書かれてなかったように思いますので、
1:18:12	理由があって修正されたっていう、やっぱその点はきちんと各層入れるにしたいと思っています。いかがでしょうか。
1:18:22	はい、渡辺です。もうキレートとしては前回会合以前以降という形になって、前回会合以降から追加したものはないかという形で改めて整理させていただきます。また現地調査から4月の会合に至るにあたって、
1:18:40	例えばTs2ユニットの基底付近の分布形状が変わっているとか、そういったことについては、7章のほうにまとめて記載させていただいていたんですけども、これらを7事象という別建てではなくて、例えばこの2章の中に、
1:18:55	組み込んでこれまでの経緯変更牽制を記載するといったような理解でよろしいでしょうか。
1:19:08	すみませんちょっと難色をちゃんと見たんで、じゃあそれはもう1回見せてもらった上で回答させていただきます。
1:19:30	補助続けますね。
1:19:32	65ページをお願いします。
1:19:39	これは確認なんですけど、真ん中に南側の側溝設置後、海側決めつけ違って、高知確認したいのは、このスケッチの一番左端のところ、
1:19:53	黄緑色の基盤が、これは海食崖だって考えていいと思うんですけど、この黄緑の中にマイナス2.5ぐらいの1日以降、緑色の
1:20:07	緑色の判例のものがこれ書かれてるんですけどけれど、これちょっとどういうものかご説明いただけますでしょうか。
1:20:29	ワタナベです。こちらについては、ちょっと大きな絵のほうで御説明をさせていただきます。
1:20:36	今、
1:20:38	少々お待ちください。
1:20:43	はい、110ページ、お願いします。
1:20:53	110ページのほうに距離呈前+2.5のところ緑色の
1:20:59	役職がありましてそこに記事が書かれておりますシルト質砂と記載がありまして、
1:21:04	海食崖より南のほうを今回追加で広げて確認をしたところ、管板神恵内層の岩盤の中にシルトとして砂が挟まっているという状況を確認しました。したがって、解釈としましては、

1:21:19	このシルト質砂よりも右側が海食崖から直接落ちてきた大きな段階、これを見ている可能性もあるんじゃないかというふうに現状では考えております。
1:21:36	ということは、規制庁タニですということはこの緑色で書いてるものは神恵内層の中に相当するような
1:21:47	そうだとすると相談。
1:21:49	そういう理解かなと思うんですけども、そのあとと言われた、それより右側が、
1:21:56	落ちてきた部分訓練っていうのは、すいません。もう一度説明いただけますか。
1:22:03	電中研の佐々木です。これに関してはこの110ページでのスケッチで濃い緑色で書いてある部分は確かに堆積物などでがんではない。
1:22:15	今海食崖が残っていて、おそらく海食崖ですので複雑な形をしていて、そのちょっとした海食崖沿いの
1:22:30	退職食堂海食洞
1:22:32	みたいなものがこの辺に分布していて、そういった堆積物があったところにはまり込んでるっていうような状況を見ているというふうには考えていて、先ほど渡辺さんからありましたように、
1:22:46	この右側がもしかしたらそういったその本気岩体では海食崖沿いに分布している。
1:22:55	基盤からなる大きな岩体が分布してるっていう可能性もありますけれども、
1:23:01	ここの
1:23:03	今は
1:23:06	現状今、緑色のこの点打ってあるところが左右で地質が変わらないので、その海食洞複雑な海岸線沿いにはまり込んで堆積物というふうに考えてます。
1:23:20	規則ということは基盤がよりも新しいようなものがちょっとした空隙っていいですか、間になってるようなところに入っているようなものかもしれないっていうそう解釈されているということですかね。
1:23:35	そういうふうに考えてます数值は承りました。
1:23:45	ここ、
1:23:47	判例だけはしっかりと書いてもらおうと多分誤解のもとになると思いますので、お願いします。
1:23:56	承知いたしました。
1:24:10	いや、もう
1:24:13	っていうのは、
1:24:15	ここにも見えない。
1:24:26	うん。

1:24:28	どうぞ。
1:24:29	すいませんタニです。
1:24:32	えっとですね。
1:24:36	それですこれ戦争のスケッチが 110 ページ以降、
1:24:43	例えば 112 ページとか 113 ページとかには繊維部の分布範囲っていうのがあるんですけど。
1:24:52	これはもう反映範囲Bというのにはないってことなんですか。
1:25:01	ワタナベです。
1:25:02	例えば 110hも 111 ページはいいですかね、案 1Pdの辺りになってきますとちょうど 113 ページのほうでスポーツ本励起ますと、会議概ね会議ですけど、M MRのグリーンの
1:25:18	シルトまじり砂層があって、その上位に濃い緑の歴丸いシルトまじり砂相場って二つのセットが綺麗に見てとれるので、比較的そのエラーのグリーン側のほうが底部に該当するだろうというふうに明確にいえるんですけども。
1:25:34	人 111 ページのほうでこうもりので上を切っちゃっている関係で凡例上シルトまじり砂層しか見えてこない部分が大体済んだって。
1:25:44	こういった状況ですと、明確にこれが浅部だというための上位の地層が見えていないという状況になるので、ここに関しては、変位部というふうに
1:25:55	評価することを避けているというものになります。
1:26:01	つまり 110 ページとか 111 ページは判断できないから、これは書いてないってことで理解しましたけどそれでいいですか。
1:26:10	はい、そうように考えております。
1:26:12	はい。それで、引き続きのんですけど、これ何か赤の格好でね繊維部の分布範囲って書いているんですけど。
1:26:23	なんていうんかのこれは、
1:26:26	例えば 113 ページだったらですね、どの範囲が、
1:26:31	その繊維部としているのか。
1:26:34	最初はこれ色が違うかもシルトまじり砂
1:26:40	のラドグリーンでさっき言いましたけどその範囲を言ってるのかなと思ったけど、そうでもないんですよ。
1:26:47	これ何か
1:26:49	ちょっと、
1:26:51	はっきりわかるところがどこなのかをわからないところはきっとあるのかもしれないんですけど、そのドットの鋼板によってを入れるとかっていうのはできるんじゃないんですか。

1:27:08	ワタナベです。
1:27:10	もう少し入って可能な範囲でなかなか明瞭じゃない部分もあってこのような示し方に見たんですけども。
1:27:18	いえるところについては、もう少しはっきりと、とりあえず東海線を引けるような形で整理検討してみたいと思います。
1:27:26	はい、お願いします。わからないところを無理して聞いてくださいって言うわけではないんですけど、ちょっと言われているところがどの範囲なのか私はちょっと知りたいというところをお願いできたらと思います。
1:27:50	ここから泊し、
1:27:58	内やつないやつはこういう判断できない。
1:28:07	15%。
1:28:10	うん。
1:28:12	そういうのがですね。
1:28:26	タニです。ちょっと引き続き、
1:28:29	結局、個別の範囲を区切ったABCDとは分けた中では図示されてるんですけど。
1:28:39	この全体を通して、どこにあるとかいう平和
1:28:45	あるんですけど。
1:28:54	ワタナベです。現状では、個々のパーツパーツに区切った中で整備について、括弧書きで示しているんですけども全体系として大きなマッピングというものは、今は示してございません。
1:29:08	うん。起こりますと、
1:29:11	もっとはね、水田に聞くと、
1:29:16	123 ページだとか、次の 124 ページもそうなんですけども、例えば 120。
1:29:25	3 ページ。
1:29:27	これさっきのメールとグリーンのの地層はずっと続くんだけども、
1:29:34	センイ部としては、ここで登記入れる。
1:29:39	ということなんです。
1:29:41	ですよね、この 124 についても、
1:29:44	MMRドックグリーンで示してるおんなじ高さの地層はずっと続くんだけれども、成因ここで、
1:29:52	日なくなると、この亡くなり方みたいなのか、何か状況がわかるような
1:30:00	説明というか、
1:30:03	政府がどのように消えていくのかとかいうのは、
1:30:06	どっか見たのはわかるんでしょうか。

1:30:22	すみません、今、この辺りを拡大で示すような治療がそれぞれ入っていませんのでその辺り追加させていただければと思います。
1:30:33	はい。要するにわかっている繊維部加工機種時計てるのかそれともわからなくなるのか、判断できなくなるのか何かその辺のニュアンスがちょっと今の資料では、
1:30:49	あまり伝わってこなくて、多分、最初の質問からしたら、何かわからなくなるってことなのかなと思ってんですけど、ちょっとそのお考えが確認したかったというところです。
1:31:05	その定着いたしました。惜しいこの辺正規で生かさせていただきます。はい、お願いします。
1:31:21	いや、
1:31:23	ほか、
1:31:25	はい。
1:31:31	委員長。
1:31:37	8 ページ引き続いて、
1:31:40	今般、後から持っている。
1:31:45	はい、規制庁タガミです。そしたらもう、ちょっと進んで、
1:31:50	薄片観察のどこ 144 号の見開きお願いします。
1:31:57	144 と 140 行
1:32:01	森道路の部分で薄片をすっていただいて観察加えられたと。
1:32:06	確認は明白員の作成方向なんですけど。
1:32:14	粒径の形状とか見て定向配列してるってことを言われてるんですけど、これは
1:32:20	うん。大体 1 方向に並行して作ってるって見ていいんですかっていう確認と、
1:32:27	あとですね 140、どっちも一緒か。
1:32:32	こういった森の部分のですね、17 款の基質の部分はどうなっているのかっていうところですね、これは他にも記載はあったとは思んですけど。
1:32:41	Ts-3 とか、
1:32:44	改正の堆積物ですね。
1:32:46	それと比べて優位な差があるというふうになさってるかな、地質がどうなってるのかっていうあたり、
1:32:53	行く。
1:32:55	観察した結果としていかがだったんでしょうか。
1:33:14	ワタナベです。資料作成方向はすべて鉛直方向でそろえてございます。

1:33:20	また、RIDMの中の基質の特徴としましては粒径粘土鉱物という系の堆積するスペースとか粘土鉱物これらが例えば場所によっては区別して多かったり、また少なかったりと斑上にある油不均質な性状というものが見てとれているというふうに考えております。
1:33:45	はい。もし
1:33:48	特徴として、いえるようなことであれば、
1:33:53	整備された表マトリクスあったと思いますけども、そういうのに
1:33:57	きちんと反映しておいていただけたらと思います。
1:34:02	作るところ。
1:34:04	どうぞ。
1:34:06	今度はM1 ユニットのほうですね、確保高 10 ページをお願いします。
1:34:19	こちらのPS-3 ユニットでは海食崖期限のようなまれ切っています砂が入っているという特徴があるという御説明だったんですけど。
1:34:33	M1 ユニットの改正堆積物にはですね、そういった火山礫凝灰岩由来ですかね。
1:34:40	そういった粒っているのは、
1:34:42	ほとんどないっていういえるんでしょうか。ちょっとあのその転倒後 150 ページの黄色の箱が国民のところですけど、酸化鉄の沈着っていうのが特徴として、認められるっていうことで、
1:34:58	多分右下の真ん中辺り。
1:35:02	特長言われてるかと思うんですが、このここをもう少し詳しく御説明いただけますでしょうか。
1:35:16	ワタナベですとM1 ユニットに関しましては、基本的にレディーサイズの粒子というものがほとんど認められませんが砂粒径引かなくなってきます。そのそんな粒径の碎屑物を見ていたときに、
1:35:30	火山礫凝灰岩見られるものがあるかどうかというと、で規定が小さいということと、火山礫凝灰岩由来かどうかをミヤワキで落とすときに発泡孔見ていくということになると思うんですけども、余りにも粒径が小さいのでその辺りの明瞭な部分というものはできないというような状況かと考えております。
1:35:48	また、単発の沈着、こちらに関しましては、露頭レベルで見たときにM1 ユニットについては、黒いつぶつぶが
1:35:58	散在しているという状況になって特徴になりますのでそれを 100 円で見たときにこのように見えるというふうに説明しているものになります。
1:36:08	はい、説明遅れました。今も渡辺さん言われたように、あとで出てくる研磨変にもそういう特徴が出てるように思いますので、



1:36:16	AMGの特徴として整理できるんだったら、そういった点も、
1:36:22	起債の報告はといていただけたらと思います。
1:36:27	承知いたしました。
1:36:30	これ、
1:36:32	154 ページ。
1:36:34	すみません、順番に研磨片イズミます。
1:36:38	154 ページ、これも最初に
1:36:41	左側の上の写真だけど薄片試料採取位置って書いてるのが青い線より上になって、
1:36:49	これはBS3 ユニットではかってるっていうんだったら、もしかしたら位置が間違ってるんじゃないですか。
1:36:58	申し訳ありません位置の間違いになります。修正させていただきます。
1:37:06	薄片そんなところですよ。
1:37:11	ここ。
1:37:16	すみませんタニです。
1:37:17	ちょっとしつこいようなんですけど、あのですね、これ結局見地で、
1:37:24	その繊維部っていうのと、どう判断して、
1:37:29	これは繊維部なんだっていうふうにそれなんかを分け方みたいなのは、
1:37:36	説明があるんでしょうか。
1:37:48	ワタナベです。各ユニットの特徴は、これらのことを観察はざと傾斜量の確認を踏まえて 104 ページのほうに、
1:37:58	整理表という形で記載をさせていただいております。
1:38:04	この中で浅部はPS3 ユニットも内数として今記載をしております、ベント見たときに何が違うかというところで、我々として 6 章としてまず見ているのがEs3 本体はできまじりシルトまじり砂これに対して、
1:38:22	シルトまじり砂ということで基質主体になってくるという状況が見えるというところ、これと部の中に滞留から中流さがあち状に入ってきているといったところが認められます。またシルトの履歴というものも入ってくるというものの特徴としてあります。
1:38:39	政府のもう一つの特徴としては、基底面、こちらは 1000mと認定されるであろう場所はφの改正堆積物を侵食していて、場所によっては用意を侵食する、こういったものを認められてございますといった特徴のついている場合違って、T s賛成部。
1:38:56	この会議のM1 ユニットといったところを見ているというふう考えております。
1:39:09	はい。これですね。そう相当

1:39:14	回答の協会
1:39:18	特に見ているということですね。
1:39:22	はい、そうなります特に高いの1ユニット侵食しているという特徴が回答の協会では見てとれると思っております。
1:39:30	リエスさんとの違いについては、相当違い堤防係はパッチ状に砂を取り込んでいるこういったところが違いかというふうに感じております。
1:39:40	はい、ありがとうございます。ちなみに、これ専用の説明って、いや、私も資料をまた今日説明いただいたばかりで、
1:39:52	全部読み込めてないんですけど、その繊維部っていうのは、
1:39:56	なんだっけ、PS-3 だっけ。で、今回は確認しているんでしょうかそれとも他の斜面堆積物も見ただけでも、
1:40:06	ないんだっていうことなんですか。
1:40:11	ワタナベです。
1:40:12	縁部については、TSIと今回詳細に確認して、今申し上げたような特徴があるだろうというところで定義をつけてございます。その定義のもとで、その下位のPSIにES1 仰っ場所が変わるんですけど、開削調査北側の東側に位置している追加開削調査にある斜面堆積物、
1:40:33	これらに関してはざっと転社資料作成したり露頭監査等を実施したいといったことをしているんですけども。
1:40:40	PS3 の下にある西武と類似したような特徴を示すものというのはあまり明瞭には他の斜面堆積っていうのは見てとれなかったというふうに考えております。
1:40:55	すいません 105 ページに書いてそれそうそうということが書いてあるってことですね。
1:41:02	はい、そうです。はい、ありがとうございます。
1:41:07	そうでてちょっと今話が出たのちょっと細かいことを聞きますけど。
1:41:13	この等層槽の確認など 68 ページに、
1:41:18	さっき言ったのシルトの着歴とかいうのを入っている 68 ページ。
1:41:24	このするとの着歴っていうのがあれですよ、69 ページの剥ぎ取りにも入っている四つでいいですか。この
1:41:33	何て言うんすかね膨縮してうに特攻してるのがシルトの着歴って言われているものでいいですか。
1:41:45	はい、68 ページのほうで冷やしているもので、
1:41:50	間違いありません。
1:41:53	この何とも言えないこの形っていうのは、
1:41:56	どういうものなんですか。

1:42:09	すみません、普通の中で機器の形ではなくて、うにあっとう曲がってるように見えるんですけども、
1:42:16	どんどん尺でしかないんですけども、資料と自体はM1 ユニットには含まれていないということを踏まえると、愛護の海食崖が崩れたときに、海食前の岩盤の中に入っている去ったようなもの、それが
1:42:32	このような形で取り込まれてるんじゃないかというふうに考えております。
1:42:42	なんかタニです。
1:42:46	変形してるようなものなんですか。
1:43:07	すみません、もうそう楽なんですけども、堆積時の斜面体積物堆積時に残された、ある程度変形を受けた堆積構造ざんじゃないかというふうに考えております。
1:43:20	はい、考え確認しましたと。
1:43:25	ワットをですね。
1:43:30	ちょっと今後行為法の指導のこの 80 ページの多いよりの厚さが変化しているというのも多い。
1:43:38	1 回ちょっとちゃんと説明してもらっていいですか浸食により病理の厚さが変化しているっていうのが書かれて、どれが用RIでどう変化しているっていうことでしょうか。
1:43:51	ワタナベ図水色もやC上下から示していると思うんですけども、2ヶ所左側と右側にヶ所ございます。ここが今同時放送している用意の長短方を示しているものです。ここで話しているようにというのが、
1:44:08	報酬愛し比較的ちょっと褐色会議の明確職よりも褐色づいているものをこの料理が左側と右側で厚さがさがあると。
1:44:20	ここに関してなぜ差異があるのかというところは侵食面が色の破線で引けましてこの進捗に伴って、
1:44:28	相対的に右側の容り従来はもっと厚みを持っていた左側と同じぐらいの厚みを持っていたはずのものが頭を撥ねられて、アクサを掲示という、こういうふうに考えております。
1:44:40	はいちょっと指値わかりにくいんですけど、そうそういうことを言われないうよりの厚さがっていうのはその単一単位の地層の厚さが変わってて用裏面がここずっと傾斜しているのに、この境界面はフラットなんだっていうことを言われてるってことでいいですか。
1:45:01	はい、そうです。
1:45:03	はい。来確認は、
1:45:07	しましたと。

1:45:09	あとはですね、98 ページ飛んでもらって、
1:45:18	これは僕今度どう移動してTS1 ユニットの下面がここになるのかっていうのが、
1:45:26	よく起こらなくて、例えばここも保守側のユニットの下にちょっと雨の砂が砂ですよね、こういったものがあるんですけどそこではないんですか。
1:45:54	ワタナベです。こちらに関しましては、M1 ユニットの放送の特徴として淘汰の良い砂ということになる考えてございまして、今黄色破線囲っているいろんな8000m規定境界をした。こちらは淘汰の良い砂になっているところと歴を含んでいないと。
1:46:12	いうところでPS湾とは明瞭に相当が異なる加工協会として引けるというふうに考えておりました。
1:46:22	はい。まずはそういう考えてことですね。ただ何かさっきの説明と聞くとですよ。
1:46:30	下のほうも黒っぽいのがもしお売りなんだとしたら、
1:46:35	何か
1:46:38	なんていうすかねそれなんか、
1:46:40	厚さ変わってたり、
1:46:42	するんじゃないのかなとか、この砂の下でですね、そんなふうに見えなくもないので、協会どういうふうを考えてるのかっていうのをちょっと書いてもらったりしたほうがいいかなと思います。
1:46:55	いいですかさっき説明していただいたことを書いてもらうということでもいいと思うんですけど。
1:47:01	ワタナベです。もうちょっとセガワタニさんもおっしゃっている内容も踏まえて、もう少しこの層区分1と区分ですね整理させていただきたいと思います。
1:47:14	はい、お願いします。
1:47:20	一つ目。
1:47:23	はい。
1:47:24	はい、規制庁タガミです。
1:47:26	はい、と。
1:47:28	写真及びスケッチっていうのが何ページかに分かれて書かれてるんですけど、ページによってはその位置図があったの。
1:47:37	はいってない提示もあるんで。
1:47:39	例えば108 ページとかにその代表して帰ってることは承知しております、ますので、

1:47:48	スペース的に入らないんだったらそっちに地図があるよっていうような注釈を入れてもらったほうがいいと思います。
1:47:58	ワタナベですから承知いたしました6カ入れる方向であまり写真とかは小さくすると本末転倒になってしまうので邪魔にならないということで入れるように検討します。もし難しそうであれば、先ほど御示唆いただいたように、ページ参照といったことをさせていただきたいと思います。
1:48:20	はい、規制庁タガミです。
1:48:23	それでは、議事進めますね。
1:48:26	今度Codeお話169ページをお願いします。
1:48:40	ここで一般をお聞きしたいのは、
1:48:45	1000mの高度の特徴でどう整理されているのかなっていう確認なんですけど。
1:48:51	この169ページのグラフを見る限りは、緑の実線の
1:48:55	Ts-3ユニット、それと1000mっていうのを抜き出したのが緑のここ小さい点線だと思うんですけど、この二つ極浅部食うに明らかな違いが出てるように見えるんですけど。
1:49:12	Ts-3ユニット等生育っていうものを特定コードとしての特徴の比較として、
1:49:21	どういうふうに整理されているんでしょうか。
1:49:35	ワタナベです。
1:49:37	すみません繊維部とPS3本体というところを比較していくと西武自体は比較的地質がちといいですかガレキが少ないという状況になってきます。上がってき質を占める割合が多いと。
1:49:52	いうところで貫入試験起きたときの値のばらつきという観点であらつきが出にくいPS3に比べてような状況なんじゃないかなというふうに考えレベルなんですけども推定はしてございます。
1:50:11	はい、規制庁タウンです。
1:50:14	えっとですね関連施設関連してるんですけど。
1:50:18	171ページ。
1:50:23	Code試験、これはもう
1:50:26	来架空で言えば、11月の何番とかいうのがあるんだと思うんですけど。
1:50:32	多分ですね、その試験規格通りやるとしたら、1ヶ所で広測ってるのではなくて、5ヶ所、
1:50:42	以上やった上で、平均としてとられているのかなと思ったんですが、ちょっと確認させて欲しいのと、
1:50:54	Ts-2とかですえ追加開削調査箇所と同じようにとってやられてるんでしょうか。ちょっとその確認ですが、いかがですか。

1:51:06	ワタナベですね、171 ページの位置図でいきますと、それぞれ丸でくった箇所のもう里道ES3 繊維部、M1 ユニット、これに対して実施してますn=5 の取り方なんですけども、これコーン型の破壊試験になってしまうので、
1:51:23	同じ場所で何回もさせていくことはできません。
1:51:26	したがいまして、例えば、あるユニットES3 で1ヶ所さしたら横方向にスライドしてさしていきます。それ5ヶ所させたときに大体横幅で三、四10cmぐらい使うというような形で1ヶ所当たり実施してへの移行の平均値をとっております。
1:51:44	またPS1 について実施という観点でいきますとこの紺試験が基質を対象に行っているある程度目を平滑にして、弁に対して垂直にさすということを考えると、イエス位置に鳥の瓦れきが
1:52:00	比較的多いということで、適正な対応がおそらくとれないだろうというふうに考えて実施はしてございません。
1:52:13	はい。タガミです。やっていないっていうのはもう確認できました。それと行動指数はL=5. 平均値をとってることですね。
1:52:22	はい。
1:52:29	はい。
1:52:34	やっぱりできる。
1:52:38	どうぞ。
1:52:40	代替機室の
1:52:43	聞いて。
1:52:48	タニです。
1:52:50	これ土壌硬度毛戸根幹ですけれどもですね。針貫入とかそういったことは、
1:53:00	現地に合わないんですかね。
1:53:03	ワタナベです。針貫入はですね、従来、岩内層といった地層に対してとかなり今4年5年前ですかね1をどう測るという命題時いろんなやり方を試してみました針貫入の場合だったらやはりピンポイントすぎる。
1:53:20	いいですね、このぐらいの軟らかい層だと辺りに差がほとんど出ません。刺さっちゃうという形で、4月と同じぐらいの程度で対応とれるというところで今の訪問貫入式に行き着いてございます。
1:53:37	針貫入のそこは入り過ぎちゃうっていうことでいいですか。
1:53:41	はい、そういうあたりがほとんどみんな一緒になってしまいます。
1:53:46	例えば、わかりました。ありがとうございます。
1:53:55	はい。
1:54:06	そうです。はい。
1:54:08	はい、高見です。そうしたら進めますね。

1:54:12	次は、火山灰分析ですね、背後法面の 177 ページ。
1:54:20	これはもう確認だけなんですけど。
1:54:27	測線が 2 本引かれて、
1:54:34	4 月の会合以前とか移行以降って言うふうに設けられているんですけど、そういう理解はできるんですけど、そのあとのですね、
1:54:45	具体的な表一覧表との対応がちょっと
1:54:50	混乱することによって何が言いたいかという、これ例えばですね、追加調査を
1:54:58	審査会合以降の右のほうだと青線で書いてて、
1:55:02	それは
1:55:05	SKBGの下にちょっとだけいいかの新しくやった、青色の線が加わったと思うんですけど。
1:55:13	これをですね、SKB-Eって書いてしまうと。
1:55:20	ここに左側の青と混乱するように思いますので、これは分けたほうがいいんじゃないかなって言う案測線としては沸騰がいいんじゃないかなと思ってます。
1:55:32	一番上の短いD'っていうのは、それはそれでわかるんですけど、その下のDっていうのは青野委員も含めて、Dに追加で、下の部分をデータをとりましてっていうのも私の理解でよかったら、
1:55:49	Dの中にくってしまったらいいんじゃないかな。
1:55:53	それでや青で左に書いてある青線のほうは委員等統一したらいいかなと思ったんですが、
1:56:00	どうですか、間違ってますか。
1:56:19	要はですねその 180 ページのところにSKBのこれいいって書かれてるんですけど、100 万が 17 ページのところを見たらいいっていうのは、
1:56:32	初めの裏面の下で寄った部分、右側の測線部分も入ってきてしまってるんで、ちょっと混乱するのかなと、そういう意図です。
1:56:44	承知いたしました。もう少し測線のわかりやすさ提示させていただきます。
1:56:52	あともう 1 点は人 177 億、左側の青のe測線なんですけど。
1:56:59	Ts-1 ユニットっていうのが二つ矢印の引き出しがあって、
1:57:03	これもですね、ちょっと
1:57:07	物自体がもう見た目でも違ってますんで。
1:57:12	例えばその下のほうで見つけているものも減少分けるとかですね。
1:57:17	考えていただけたらと思うんですが、

1:57:22	今あるうちのどちらかと、例えば1-DASHとか1とか、そういった液体もう分けたほうがという理解でよろしいでしょうか。そうですね。おんなじ名前だったら、同じものをどのように考えてしまうこともあるので、
1:57:39	層準も違う別の
1:57:42	時期のように思いますので、それはちょっと分けて報告を受けた方がいいのかなと思うんですか。
1:57:51	承知いたしました。考えます規模が小さいので例えばユニット長はどちらかに代表させるとか、いろんなやり方あるかと思しますので、検討させていただきます。
1:58:24	タニです。ちょっと。
1:58:26	私の記憶もちょっと曖昧なところ、またコードのところに戻るんですけど、何か
1:58:34	前回現地調査のほうに行ったときに、森と
1:58:38	あとDTSさんのユニット、あと、M1 ユニットっていうのは、削った感じですね結構硬さが違うから区分できるんだっていった中で、
1:58:49	雨森とは結構閉まって、かたいと言われてたような気がするんですけど、それは私の勘違いですかね。
1:59:08	おそらく現地調査のときも盛り度が比較的削りやすいといったような話をしていたと思っております。
1:59:17	盛り度が削り安くて現地でも森とか削り安くてPS3のほうが開まって、その辺の違いが明確明瞭に違うんだっていう説明でしたか。
1:59:29	そうだったと記憶してございます。
1:59:33	はい。だから、その当時の現地の説明と口頭の測定の結果というのがあってるんだということで理解していいですか。
1:59:43	はい、そう思ってますあと網羅的に今回実施した結果としてわかってきたところとして雨森湖にばらつきが比較的大きく出てくるなど。
1:59:53	これがやはり不均質性に起因してる部分があるんじゃないかといったところを網羅的にやった結果として得られたものだと思ってます。
2:00:09	うん、はい。ちょっと資料確認してきてくようにします。はい、ありがとうございます。
2:00:18	二つだけ言わせてもらいましょうって。
2:00:24	規制庁のサグチですけども、ちょっと一般のところに関連してこれを教えていただきたいんですけど、168 ページで、多分今言われたようなことが書かれていて、
2:00:38	まずM1 ユニットと。



2:00:42	それから、森度っていうのは基本的に値が小さい傾向があると。それで、168ページの下の黄色の四角括弧の1ポツ目でございまして、M1とか、
2:01:00	これはあくまでも早々観察なんですけど、それで見ると、淘汰がよい砂層であるということがこの値を小さくしているんだらうってこれ考察されてると思うんですけど、その一方で、
2:01:15	一番最後のポツで、
2:01:17	モリタっていうのは、
2:01:19	そうそう変化が著しく
2:01:22	で書かれてるんですね。
2:01:24	これって、実は、
2:01:27	移管するようなことじゃないのかなとちょっとそういう印象を受けたんですけど、そういう認識じゃあおかしいですか。
2:01:37	相反することを書いてございます。それでM1うにを自体としましては、互い周り左右分微粒部分があまり入っていないので閉まりが悪いというところで比較的low安定と言ったような値が出るのかなというふうに思っています。
2:01:56	して、もう意図につきましては、やはりほう素変化が著しいというところで場所によっては粘土鉱物碎屑物を伴うというところで高い値が出る場所も出てきてございます。これがばらつく牽引だらうと考えてございますけども、そのほかに対応引き下げる。
2:02:14	要因としまして、二つ目のポチがあるんですけども、自然地盤ではなく、モリタがですね。
2:02:21	早々観察の結果割と平気オーバーしてからクラックが発達するという特徴がありますので、このクラックの影響に伴う部分も出てきてるんじゃないか、全体的に値を引き下げる要因としてあるんじゃないかというふうにも考察してございます。
2:02:39	はいサグチです。ありがとうございました
2:02:43	ばらつき業法機というところと、値が小さいという、まあ両方何かそういうものが杜度ではあって考察という
2:02:53	理解でよろしいですよ。
2:02:55	はい、そうです。
2:02:58	はい、ありがとうございました。
2:03:09	規制庁タガミです。
2:03:11	すみません、この前も聞いたんですけど、高圧指数って与え高い報道逆にやわらかいってことだったんでしょうか。そりゃ硬いということではないんでしょうか。

2:03:24	ワタナベベースの値が高い高度硬いということになります。
2:03:29	値が低いを貫入していかな中にパネルが入っていて、その抵抗値を見てもますますのかわらかいものだとあれを押し下げることなくそのまま梁があつと入ってしまうので、
2:03:44	あたりは例えばやわらかいと10%としては10しか縮んでないという状態ですとかたければ硬いほど上げ後事務量が大きくなって載40という値がマックスになるんですけどそのときは40mmありがばねが縮まっていくということを示した。
2:04:01	はい、すいません何回も。
2:04:18	また、多分ですね、先ほどの火山灰の化け学分析した資料ですけど、分析結果の一覧一覧一覧というかな。例えば179ページとか見ていただいて、こういった分析結果って示してるんですけど。
2:04:35	化け学分析ですね、あとにやっている火山灰の
2:04:41	組成分析やってる深度のところは、この表でもわかるように、何かマーク入れておいていただけたらと思います。
2:04:52	ワタナベです。主成分を実施している箇所がわかるように、色づけするとか、そういった理解でよろしいでしょうか。
2:04:58	はい、そうですね、お願いします。
2:05:01	はい、承知いたしました。
2:05:21	事象に関しても持ち合わせております。
2:05:25	御願います。
2:05:27	うん。
2:05:31	はい。
2:05:37	はい。
2:05:42	すみません。
2:05:46	はい。
2:06:00	そんなササキもので、
2:06:03	どうぞ。
2:06:22	うん。
2:06:24	このタニです。ちょっとですね、何か
2:06:27	今回も、
2:06:29	期首の調査198ページとかされてるんですけど。
2:06:35	これは列挙D
2:06:37	ある歴を全部とったということですか何かその取るときに何cm以上とかそういうことは特に

2:06:46	やらずにあるべきは全部測ってるっていいですか。
2:06:52	すいませんこちらについては4月16日の会合でお示した開削調査南側のPSワンツースリーユニットの歴史調査の再調査と同じやり方をしております、
2:07:06	ある大きさのブロック試料起こった切り出しています。その中の歴を抽出しているという流れになって、
2:07:16	だから、あるべきは全部とってるんだという説明でいいですね。
2:07:21	すみません説明が足りませんで前回のTS123の場合ばブロックでとった後にふるい分けをしております。4.7孔より大きい収益サイズのものでございます。この考え方としましては、これまでの
2:07:38	その他の地点の歴史収益の形状調査、こちらに関して、実施した歴濃縮液収益の景況調査の平均的な例規系が多い途中歴サイズでありましたことから、それに合わせるということでふるいをしまして、4.75以上をとっております。
2:07:57	遅れました説明ありがとうございます。ちょっとその辺も書いてもらったほうがいいかなと思いますけど。
2:08:06	そうしました。その辺のサンプリング方法等を記載させていただきます。はい、お願いします。
2:08:20	はい。
2:08:22	そうです。
2:09:38	規制庁のサグチです。すみませんまたちょっと教えていただきたいんですけど、結構すみません戻っちゃうんですけど、50ページ、
2:09:53	上の箱書きの
2:09:56	三つ目の丸ですかね、このM1NとM3ユニットの境界には堆積環境も変化括弧して、①が存在することから、斜方輝石の含有量の増加は、これに、
2:10:12	対応するものと考えられるっていうので。
2:10:15	書かれているんですけど。
2:10:18	ごめんなさい。まずこの具体的にまとまる1のこの変化っていうのはどういうものなんでしょう。
2:10:26	はい、渡辺です。一番の変化、前回の会合で若干御説明させていただいたんですけども、まずM1ユニットをこういうものが47.5メートル標高ぐらいの辺りをこう左にみあっていただくとうTF2ユニット状面、
2:10:44	これナット並ぶような状況になってございます。
2:10:47	M1ユニットばある程度は分布標高47.5付近まで堆積した後にTAFにユニットがこれを侵食して堆積したというようなものを考えてございます。

2:10:59	その際に、M1 ユニットの情報面をBF2 ユニットの上限がおおよそ 47.5 メートルPT
2:11:07	ある程度平坦になっていくというふうにユニットの頭がちょうど平坦になっているので、走時なるんですけども、ことを考えるとDF2 とは一度堆積したときには平坦な旧地形というものを一旦形成していたんだらうというふうに解釈してございます。
2:11:25	これはM1 ユニット堆積時にあたって海進押してきた際に、47.5 付近で一定期間の停滞、或いは、
2:11:35	一定期間の下位水準の低下、こういったことが想定されるんですけども、その際にTF2 ユニットがM1 を削り取って、
2:11:43	単なる旧地形を形成した。
2:11:45	これぐらいの時間かわかりませんが、まず 1 の地形をつくって、ここで売りが少し下がっているという堆積環境の変化があったんじゃないかと考えてございます。
2:11:55	お金または海進が進んで、M3 ユニットがM1F2 を含めて、
2:12:01	言ったようなことを想定してございまして、M1m3 ユニット境界付近に 1 時の下位水準の停滞或いは低下といったような環境の変化もあったんじゃない。それを示唆するように、この辺りを境に、
2:12:15	斜方輝石の含有量が増加したんじゃないか、こういったところを考えてございます。
2:12:22	はいサグチです。ご説明ありがとうございました。ちなみになんですけど、そうすると、M3 よりところのDF3 指とも関係ですよ。
2:12:34	そこには同じような、そういう関係はなかったと理解してよろしいのでしょうか。
2:12:44	ワタナベですとTM31 とTF3 ユニット境界目を見ていただくと、模擬の旗のような形に改善がなってるかと思えます。こちらはおそらくM3 とか堆積しながら、同時位相で指向関係ようにdFサイト堆積していったんだらうと。
2:13:03	考えてございます。従いましてある程度M3 ユニットがたまるときの堆積環境として大きく変わらずの中に指向関係でdFサイトが持ってきた、そういったところを考えてございますので、先ほどのM1、DFにそういったところとはまた堆積環境が別だらうというふうに考えております。
2:13:24	はいそうです。よくわかりました。ありがとうございました。
2:13:29	あと電中研の佐々木です。ちょっと今の施工説明ちょっと簡単に補足しますと、
2:13:34	この①のところで、別にもありますように、少なから一瞬シルトっぽい地層がたまっていますのでこれを何らかのその堆積環境の変化があったんだらうと。

2:13:49	いうふうに考えていて、この層準と斜方輝石が多くなる層準がほぼ似ているよ というのが、この中心になりますので、その堆積環境の変化っていうのはどう いったものかを考えてるかっていう投票期間病気サイクルのような
2:14:08	こういった大きなものを考えてるわけではなくて、今ここで
2:14:13	斜方輝石が
2:14:16	立ち上がる層準或いはシルトがたまる層準で明瞭な侵食面或いは明瞭な控 除というようなものが三つありませんので、
2:14:25	M1 から 4m3 にかけて一連の開始の中でのちょっと伝わって体系或いはそう いったものがあつたというふうに考えて、
2:14:33	二つ目の
2:14:36	Mサイズ、ちょっとPFIのは、どうなんだということなんですけれども、
2:14:42	この関係も指向関係が明らかに見えてるっていうことから、今まで残作業説明 したような形でTn3 というふうにはちょっと違うように見えるので特に 1F3 ユニ ットはその外に向けてと上部で知るところすごく多いので、
2:14:59	全く一緒は思わないんですけれども、
2:15:05	必ずとしてもしかしたら似てる可能性もあるただし今TF4 ユニット一番上の層 準で完全の今M1 ユニット止め歳児との境界にあるシルトのような層準がユニ ットで削られてしまっていて、ちょっと
2:15:20	そこの状況がよくわからないので、要はTF3 ユニット除名無傷られているの で、
2:15:28	BF1m1 とTFによりとのアナロジーがm3 と小さいピットに使えるかというど、
2:15:36	正確に言うちょっと現状わからないというのが答えになると。
2:15:42	iサグチすみません御説明というか補足ありがとうございました。一応そうそう いう理解でいいのかなということは、
2:15:52	御説明としてはわかりましたのでありがとうございました。
2:16:04	そう。
2:16:13	はい。
2:16:16	すいませんタニです。
2:16:19	138 ページで、
2:16:29	火山礫凝灰岩のブロックの上面、
2:16:39	M1 棟斜面堆積物の境界っていうのが、
2:16:44	これはもうほぼ敦賀 1 というおんなじような面ってことでいいですか。
2:16:53	そう。
2:17:00	はい。
2:17:07	ワタナベです。

2:17:09	こちらの断面図でいきますと、青の 8000 岩盤ブロック中に入っている青の破線の部分については、こちらが昭和の 1 号炉統制という改変で頭が跳ねられて、岩盤ですね、頭の払い出し運営にもよるが、
2:17:26	合ってるということになってますので現状見かけ辛い値になってるんですけども、オリジナルとしては異なっていたと考えております。
2:17:39	タニです。
2:17:43	そういう解釈は特に変えてはないけど、今、
2:17:49	このがんセットな火山礫凝灰岩のブロックの上だけは、
2:17:55	造成時で削られて、
2:17:59	そのほか、硬いところ造成で削られてるけど、ちょっと標高が高い斜面堆積物のつくりのところはたまたま削られていないんですよっていう説明ですか。
2:18:12	はいこの辺りが 51 円盤造成で 51F 機を切り取られているということなるんですけども、左側の部分については、当然ピールにあたっては、多少の不陸は出ますので、部分も不陸が左側言えてるんだというふうに考えております。
2:18:39	はい、ありがとうございます。そうそういうふうに考えられてるってことですね。
2:18:45	はい、確認できました。
2:18:54	そう。
2:18:55	また、
2:18:59	規制庁タガミです。
2:19:04	北出野テフラ分析ともう 1 回 44 ページをお願いします。
2:19:12	44 ページのテフラの測線見ると、先ほどお話に出た Tf-4 のところもやられて、
2:19:20	それで下向きには S 経営の D2 測線が移って、この図上は M I の基底歴のところもやって基盤のところまで測線が伸びているんだけど。
2:19:34	核不確認したのが二つあって、
2:19:37	上端のところの Tf-4 ユニットっていうのは、46 ページに出てるんで、データが出てるんだと思うんですけど、
2:19:48	洞爺とか支笏はなかったっていうふうに確認されているのか。
2:19:53	そのようにその DF-4 の上の部分ちょっとだけ空白の部分もあるんですけど、そこではどうなのかという、それが一つ。
2:20:02	それともう一つは、下の部分これあの、本当にここまで見てるのかっていう点いかがでしょうか。
2:20:18	ワタナベです。DDFP4 ユニットこちらの主成分等に関しましては、
2:20:25	これはもう古い情報になるんですけども 4 月 16 の審査会合で提示させていただいているものになります。その際の御説明としては、この中に指標テフラもあ

	るかというところで、主に洞爺メインで書かせていただいているんですけど洞爺はないと、当然PFMもないんですけども、そういった
2:20:42	プランというものは無いといったことを記載させていただいております。
2:20:46	ターゲットはTF4を見ればスターはすべて見れることということで、その際は、守弘についての修正部分までは実施してございません。単語で一方OT-1から4が織り込まれてくるんですけども、ここの成分をやってございますね。
2:21:02	また測線が今基盤がまで入ってしまうと、申し訳ございません、これはもう、礫層まで実施して基盤が浅部で線としては行き過ぎてございます。修正させていただきます。
2:21:22	はい。
2:21:24	ホーム延長して飛んでいってもいいと思う。
2:21:28	それを使っています。
2:21:43	これ、
2:21:47	休憩ですか。こと1人1点聞きたいんですけども、169ページの先ほどの話題があった話なんです。
2:21:58	これ統計正規分布曲線だけ見る限りは、
2:22:04	何だ、標準偏差も考慮するとこれちょっと有意な差があるかどうかってちょっとわからないんで。
2:22:13	実際の対応をインフラの中で、各堆積物ごとに
2:22:20	プロットして比較を表示するとかっていうことはできないですかね。
2:22:34	すみません、渡辺です。すいません。
2:22:36	例えば170ページとか場所ごとのデータを載せているんですけどこういうニュアンスではなくということでしょうか。
2:22:50	これ、これはここに持ってきていたことという結果でございます。
2:22:58	仮称で5点をとった対応を示している。
2:23:01	ただ、
2:23:03	これがそれぞれグラフが各箇所ごとの集計結果になっていて、それぞれの値はn=この平均値という形で示してございます。
2:23:13	この169ページの
2:23:17	測定した対15ヶ所とか20ヶ所とかありますよね。
2:23:23	これもヒストグラムみたいなもの。
2:23:27	もうイメージしてるんですけども。
2:23:35	15ヶ所、
2:23:36	法律の中15ヶ所のすべての対応。
2:23:40	ヒストグラムしますとかって。

2:23:45	ワタナベず、今おっしゃって例えばもリードであればn=この平均値でまとめるんですけども、それぞれの生値で同様としてこういう値学校掛ける 15 分で 80 円向上工事 75 点とかそういったもので、
2:24:02	閉鎖平均をとってみるとかそういったことでしょうか。
2:24:05	時イメージですかね。
2:24:08	データを
2:24:10	測定したデータを
2:24:12	すべてプロットするということですね。
2:24:16	ヒストグラム生データとしてですね。
2:24:18	承知しました。
2:24:28	いや、
2:24:33	いや、いや、
2:24:34	だけど、いや、
2:24:37	提案して、
2:24:39	すみませんこれこの後段オーダー参照意向の確認があるんですけどちょっともう 2 時間近くたったので、以上だったので、10 分ほど休憩を入れたらどうかと思うんですけど、いかがでしょうか。
2:24:59	そのようなことでお願いいたします。休憩でお願いいたします。
2:25:04	はい、それでは今 151054 分なんで、10 分ぐらい、16 時 5 分ぐらいめで再開したいと思います。
2:25:14	かしこまりました。



時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。
0:00:14	で、
0:00:16	はい、規制庁タガミです。それでは再開したいと思います、事業者よろしいですか。
0:00:25	はい、よろしくお願いいたします。
0:00:28	はい、お願いします。
0:00:33	施行まで
0:00:35	なければ3です。
0:00:42	あと、
0:00:47	ですよ、規制庁のスガヤですけれども、210ページのところで、
0:00:56	写真が載ってるんですけども、
0:01:00	ちょうど角から見た写真になると難しいかもしれませんがもし可能でしたら、スケールを入れておいていただければありがたいんですけども、
0:01:12	ワタナベです。承知いたしました入れさせていただきます。
0:01:23	そう。
0:01:25	やって準備
0:01:30	そうですか。
0:01:32	はい、瀬戸です。
0:01:34	それでは、次は参照情報小断層の影響はない。
0:01:39	こちらの方にも通じてと思います。
0:01:45	Ⅱ、
0:01:47	227ページをお願いします。
0:01:53	日が126名の見開きです。
0:02:00	確認ですけど、これは値上げ等、
0:02:05	昨年11月の現地調査から100cm、約1メートル程度奥歯に放り込んでいうと、
0:02:13	ということなのですが、
0:02:17	これ今見えてる写真の
0:02:22	織り込んでいく手前の段階っていいですか、途中での観察写真と、
0:02:29	これはあるんですか、もし確認したいのは、
0:02:32	ねえ。
0:02:34	掘り込み前に見えてた断層と今の黄色定性的示していただいている断層、こういったものの対応が
0:02:43	すべてできてるのかな。そういう意図なんです、いかがでしょうか。

0:02:52	ワタナベです。
0:02:54	226227 番、100cm掘り込んだ延長時壁面からで止まってございますが、その途中段階においては、当方で設定しております。理想的な条件を満たすという条件には至ってないんですけども、途中段階ということで、写真は撮影してございます。
0:03:16	はい。写真はですね、ことですね。はい。
0:03:21	それと、
0:03:23	そうですねこれこの後、はぎ取り調査というのは非常に対応されてるんですけど。
0:03:30	やはりですねそのはぎとり前のオリジナルっていいですか、この
0:03:36	220 億 227 の右側の写真っていうのが現物だっていう意味におきまして、
0:03:43	この実際の投入における上端小断層の上端付近ですね。こんクローズアップについては非常に重要だと思いますので、剥ぎ取りとは別に、こちらのほうで、
0:04:00	つけて欲しいと思うんですが、
0:04:02	可能でしょうか。
0:04:05	ワタナベの写真の状況を確認して適切なものはめ込んでいきたいと考えてございます。
0:04:14	はい、高見です。実はその県の保険等のほどお願いいたします。
0:04:29	それでは、今黄色の点線 220 億で基本線正断層 1000 億かかるというんですけど。
0:04:37	声、
0:04:38	127 のほうがいいかな、上側の黄色の点線とそのdf-2 の境界辺りに黒い数値情報ですね。
0:04:50	お示しするようなちょうど境界の部分があって、それはですね、差し入れる見た目なんだけど、何かTF-2 の中に続いていってるようにも見えるんですが、この事業者そんな観察されているでしょう。
0:05:11	ワタナベですと 229 ページの 228229 ページ、見開きで拡大したところを見ていただくわかりやすいかと思います。
0:05:22	228 ページの左側の解釈線が入ってるはぎとり写真見ていただきます。以上ある小断層の上盤側の小断層、こちらはBF2 の中に入っていたCAPの規定のほうに入っていくって先ほどの
0:05:37	タガミさん御指摘したEF2 のユニット境界等に入っている黒い筋とは連続するものではございません。また黒い筋というものが、DF2 の基底付近に存在するんですけどそこから下側M1 ユニットのほうに入ってくるかというそのような状況にはなってございません。

0:05:56	例えばこの黒い筋の左下M1との
0:06:02	に出てくるであろう辺りにラミナがあるんですけどここ切ってるとかそういった状況にはなっておらず、あくまでBM2の規定の中だけに存在しているものになってございます。この解釈といたしましては、
0:06:15	もう少し見ていただこうとよく229ページのがちょっとわかりやすいんですけども。
0:06:20	M1ユニットが上に凸のくさび状の形で、削り込まれてございます。このような削り込みが1度もDFの侵食でできるかというところとそうならないだろうと考えてございまして、順番的にはまずこのTFに増。
0:06:36	黒い筋を挟んで右側の辺りの塊が一度M Iを削り込んでくる。
0:06:42	こう大きな影強化という小さなユニットのようなイメージなんですけども向かって左側のほうが今度は削り込んでくる、そういった小さな時間差の中で、ユニット小さなユニットは2回削り込んでいるんじゃないかとその一つの証拠として、
0:06:58	黒い筋を挟んで右側のTfー歴が割と大きなべきであることに対して、左側が左右の利益となっていて、方法の違いが比較的明瞭であるというふうに考えてございます。Tbと左で堆積する順番に1. 関係があったんじゃないかと思っております。
0:07:16	また相双の違いによって横転的に参加マンガンですとか、酸化鉄、そういったものの沈着が起きてこのような黒い筋の模様ができたんじゃないかというふう考えております。
0:07:33	規制庁タガミです。
0:07:35	うんと今の御説明ですと、ただその228の
0:07:41	二つあるというような発生の小断層の上盤側の
0:07:45	それが事業者さんの解釈に
0:07:48	伸びて青点8000のところでは止まっていると繋がっていると私は指摘した境界部の黒い筋状と繋がっていないというご説明だと思いますので、
0:08:03	そこら辺ですね先ほどのクローズアップしてきそうなんですけど、同様にですね。
0:08:14	その点をに焦点を当てたような写真があればいいと思います。
0:08:20	そうですか。
0:08:22	ワタナベです。はい、対応させていただきます。この辺りを、焦点当てたような発震打ったものをつけさせていただきます。
0:08:36	はい。

0:08:37	単位ですとさつき摩耗二階に削り込んでるものをさらに削り込んでこういった不連続面があるんだという話をされてきたと思うんですけど。
0:08:50	真ん中に買い物、こういった構造というものにほかにもあるんですかね、たまたまここだけ何かその辺わかったら教えてください。
0:09:15	もう
0:09:16	そうしますけれども、
0:09:19	よろしいですね。
0:09:23	ちょっと、
0:09:27	はい。
0:09:30	ここ答えられなければいいですよ、ほかにあれば、何かその説明。
0:09:39	それで点検のササキでちょっと御説明しにくいのですがどう共有していいですか。
0:09:47	お願いします。
0:09:50	226 ページの拡大図を示します。
0:09:56	今ご指摘なつたそのくだけり右上から左下に向かつてる数字というのは今はざとり作成位置という文字のあそこですね今ポインターで示している。
0:10:11	ここが御指摘な位置で、そのすぐ上に水平に
0:10:16	何かという所参加マンガンの超えてると境界を示してるような、これも
0:10:24	小規模なユニット境界となっていて、そこが等々先生がたまたま違うことで天敵二酸化マンガンと酸化鉄が沈着している場所。
0:10:34	になっています。
0:10:36	そういったところはこの露頭で幾つか見られます。
0:10:46	はい。
0:10:48	そういったものと同じものだっていうところですね、なんかの傾斜してなんですかね。
0:10:57	3 年の上に削り込んでいるようなところでもそういうのが、
0:11:01	あるのかないのかと
0:11:04	どうでしょうか。
0:11:11	ワタナベです。
0:11:13	現有の今のお手元にある資料ではそれをお示しできるものがございませんので、もうあたりも整理して、
0:11:21	資料の中に入れ込ませていただきたいと思います。
0:11:29	はい、あのまま考え方がまずは保管ぐらいから分かるような資料だったらいいなというところですので、
0:11:39	いたしました。

0:11:47	それでてる説明では、
0:11:50	はい。
0:11:51	規制庁タガミ第3層が影響して、その通り228ページ。
0:11:58	右上の青い鳥の上端付近のところの写真があるんですが、
0:12:05	ちょうどその東端がその青の破線のTF-2の規定で止まってるっていう説明なんですけど、
0:12:14	そうですね。TF-2にも入ってる領域なんですけど、
0:12:20	ちょっと見た目はですね、何か
0:12:23	先ほどタイミングが違う。帯磁率だっっていうような説明があったんだけど、
0:12:31	色調色調BB入れれば何か
0:12:36	その下のM1ユニットに近いような特徴もあるし、レベルとしては、パプコメのTF-2のユニットも特徴があるのかなど。そういうふうに私は見たんですが、
0:12:50	一方、一方ですってその反対の南側、
0:12:55	ちょっと待ってね。
0:13:07	220ページをお願いします。
0:13:13	240ページの
0:13:17	反対の
0:13:19	法面南側の壁面で、
0:13:22	事業者さんも認定してる協会っていうのを見ているっていうのは、
0:13:27	もうちょっと大きい履歴とかがもう入ってきて、それで、その
0:13:35	スマホnetユニットのその塗装の用意とかもう消えているようなところをこちらではM1ユニットっていうふうに
0:13:43	認定してる。
0:13:45	わけなんですよね。
0:13:46	それでなんかもう先ほどのところでちょっとギャップがあるのかなっていうふうな
0:13:51	気がしたんですが、
0:13:54	この点はいかがですか。
0:14:27	そうです。もしかしたらなんていうんですが、その上のリッカーから堆積するタイミングで、その成因じゃないですけど、情報の特徴がまじっているような領域があるのかもしれないけれども、
0:14:42	その場合だと上のTF-2の規定っていうのを慎重に見ないといけないのかなと思って。
0:14:52	で、どちらかというのはその220ページで見れるようなものが、

0:14:58	TF-TF-2の規定っていうのはもうちょっと下になるのかなっていうふうには思ったんですが、せん断面が見えてるっていうふうに書かれてるんで、13の確認状況を教えていただけたらと思うんです。
0:15:14	電中研の佐々木です。
0:15:16	240 ページ共有してもらっていいですか。
0:15:22	約 41 のほうがいい。
0:15:36	拡大、
0:15:42	今のポイント中心ぐらい。
0:15:45	もう一つ、これで終わり。
0:15:48	特に断層でポインターを
0:15:52	そこに黒い筋が、
0:15:54	そうそうそうそう。
0:15:56	これ今まで中堅のササキですね今これ 241 ページを拡大していただいたものなんですけれども、今ご指摘なったA、
0:16:07	ラミナがなくなる砂なんですけれども、これは砂層の中でたまたまこうラミナがない。
0:16:14	ブロック状に入ってきた砂だというふうに思っていて、その証拠の一つにそのすぐ上なところにラミナがまた一瞬見えますんで、このラミナを等の方向を右側に追っていくと。
0:16:34	それと対応するようなラミナがここの位置に出てきますので、
0:16:38	これは社長の中の堆積構造の一つだというふうに解釈をしていて、M1 ユニットというふうに考えております。
0:16:52	その後、黄色の先生に変わるというような断面としては見えるんですか。
0:16:59	だんだんタニています。
0:17:12	はい。
0:17:13	規制庁タガミです。これも立体的に見て判断する必要があるのかなと思うんですけど、要はちょっと削り込んだら望み得るのかなっていうようなところが大事かと思うんですけど、当然この状況で
0:17:28	ほぼ保持していただいて私ども、
0:17:35	現地調査やる機会には見せていただけるといいというふうに考えてよろしいですか。
0:17:44	ワタナベですと 240241 ページに示させていただいているものが、こちらが南側壁面の現地調査地の期目を再成型して示しているがためになります。もです約 60cmほど追い込みをかけてございまして、
0:18:02	現況として見えている壁面となります。

0:18:06	3 ページ。
0:18:07	232 ページ、133 ページになるんですけども。
0:18:12	こちら 60 センチほど追い込んだ現況の断面となつてございます。それ先ほどの断面についてははぎとり権者資料がございますのでそれを見せするという形になりまして、現地調査の段階におきましては、どちらかというところの 230 人 133 のような形。
0:18:30	壁面を見せることになろうかと思えます。
0:18:36	はい。ところがですね状況が確認できますと、
0:18:40	これも 1 系統 60cm 程度置き残ってるっていうことですね、この先ほどの励行活動に
0:18:47	こちらの写真とかはあるというふうに理解してよろしいですか。
0:18:51	はい。
0:19:05	それと逆にその北側のほうの 228 ページはこの母線これははぎとり
0:19:11	227 ページのほうがこの状況で目指しているという。
0:19:17	考えてよろしいでしょうか。
0:19:19	はい、これと同様な壁面といえますのは多少水が立つので奉仕変わるかもしれないんですけど、ほぼほぼ同様な壁面でお見せできると考えております。
0:19:28	本委員会ですらね。
0:19:41	タニです。
0:19:44	とですね、230 ページ剥ぎトリーササキ資料ですけど。
0:19:51	こういう議論をする時にですね、何か。
0:19:56	一般的に取り組んできの長軸かと思ってるんだとかですね、その断層の直上にですね。
0:20:03	そういった話どこなんか。
0:20:07	検討です。
0:20:12	いや、やっぱりされてないんでしょうか。
0:20:37	ワタナベです。例えばなんですけど、剥ぎ取りになってしまうので、二次元であくまで見かけ長軸という形にはなるんですけども、こういったようでもよろしければ実施することは可能かと考えてございます。
0:20:51	あんまり今この場でやってくださいよ思いますし、うまく守りたいから出てるところなのか、できるのかできないのかとか、そういった感触みたいなものが別にはぎとりこのってませんと。
0:21:03	クエンチでもいいと思うんですけど。

0:21:33	現状といたしましては当然なんですけど利益の長軸差やはりそちら向いてるかというものは露頭レベルでは見ていますけれども、背景だっこの整理したというたものはないのが現状です。
0:21:47	はい、あの状況から見ました。
0:21:50	あとですね、
0:21:53	242 ページ
0:21:58	もうちょっとはつきり鳥取県ササキ資料
0:22:02	ここですね、
0:22:05	基本中の傾向で旅行BとかCとか、
0:22:09	のところ、この波がなくなる区間があるんじゃないですか。この砂そのものを裏切らなくなる区間っていうのが下の状況とちょっと違うその総額を見えるんですけども、どういうふう考えられてるのか教えてください。
0:22:49	ワタナベです。
0:22:51	Cの部分がラミナが認めにくいという場所なんですけど、ここはぎ取りレベルでは弱い堆積構造を確認してございまして、そのギャップとして味覚併用というものを計測してございます。
0:23:11	タニです。
0:23:13	ネットですね、味覚変位量は噴流って、実はこれ、よく見えないけど、
0:23:20	案を
0:23:21	よく見れば、
0:23:24	ラミナがあるってことなんですけど何かこのB-Bって書いてるところ辺りって何かそれより上の進まなくて、
0:23:33	何か丸抵抗後で見られたらとかある。なんか、
0:23:38	ちょっと違うものが持っているように、ぱっと見たら見えるんですけどねこのできがこうして書いてある下にちょっと大きめの歴史があったりとかですね、その堆積構造みたいなものなのかどうなのかというお考えを確認したいところなんです。
0:23:54	電中研の佐々木です。242 ページをされません共有させてください。
0:24:07	今ここに 142 ページの左下の写真を拡大していただいてますが、ここでこの今ご指摘なつたまずいいとCの間の地層がどうしてラミナがないかってどういうふうに、これは堆積したと考えてるのかっていう
0:24:22	ことですけども今bの右側綺麗ならBだが入ってます。これは現地で帯磁率測っていただいたように、時鉄鋼土佐鉄のシュゾウ学校の島になっているところで、このこのさこのたとえ夢中に特徴として、



0:24:39	今、その上の利益二つ目は写真で真ん中辺に見えている駅二つこれは明らかにM1 ユニットの中なんですけれども、この利益の周りというのはどうやらこのラミナができにくい環境液がたまるときはその周りの砂層もその査定によるラミナができにくいような環境だったようで。
0:24:57	ここのところでは、その弱い。
0:25:00	Aよりは見えます。齢は見えるんですけどその下の綺麗な切によるラミナのよ うなものはできないような体制関係で、今御指摘になった左側に移ってCの ところというのは、ちょうど歴が入っているところなんですね。
0:25:17	こういった力が入っているところがやはりこの左折によるラミナは綺麗にはでき ないんですけれども、何かをよく見ると、齢よりが見えるといったような体制環 境だったというふうに考えて、
0:25:38	はい、タニでその説明ありがとうございました。
0:25:48	本ですね、すみません、議論を
0:25:52	書いて書いてる左下のできのほうなんです、その上に、
0:26:00	121 とか 20 とかの方向に切ってここ黒いのが見えますよね、これは、その差 鉄とかではないんですか。
0:26:14	中間のササキです。ちょっと黒坂違うのでさ鉄と呼んだものではないんですけ れどもその堆積構造の一つだというふうに思っています。
0:26:26	違うんだ。
0:26:33	はい。多分ですね私たちが見てるさしてちょっと
0:26:38	改造しきれてないってところがで違いが結構変わってないんだと思います ので、何か拡大したというのもしましたら、
0:26:49	理解が進むのかなと思いますのでだったと。
0:26:53	あとへっ先ほど言った契約合ってる実は弱いな皆があるんだっていう説明です ね。
0:27:02	その辺もちょっと資料、
0:27:06	もう、拡大するとかだけでいいと思うんで、資料つけてもらえないかなという
0:27:12	お願いします。
0:27:14	はい、承知いたしました。
0:27:19	発表ですね、ちょっとそんな事件っていうとですね。
0:27:25	この地層境界が右側の端の地層境界なんでここに引けるのか、すごい細かい 話なんですけど。
0:27:33	この青いす 8000 左右でも少なくとも、
0:27:38	あんまり変わらないように見えるんですけども、なぜここに引けるのか、あ と、

0:27:44	その場合もちよつと思つたんですよね。
0:27:48	どこなの。
0:27:52	234 ページとは思ふ。
0:27:58	青いラインを境なんか進まあんまり
0:28:02	変わってきちよつとしたさかもしれませんがね。
0:28:05	その辺を引いての根拠っていうのが、
0:28:10	何か。
0:28:12	志免示していただけたらなと思います。228 ページも、
0:28:17	同じように、
0:28:18	その青い破線の左右で写真で見さしこの資料の写真のレベルで見ると、あまり砂が違ふように、ぱつと見見えないうのが、
0:28:31	というふうに分かれているのかというの。
0:28:35	を教えてくださいます。資料にさせていただかっているのを願ひしたいんですけど。
0:28:44	電中研ササキで、基本的には堆積構造が乱れていて、その堆積構造に差があるところですか或いはシール等の
0:28:55	クラストが入っていたりそういったところで根拠引いてますんでそういったことがわかるような資料を準備したいと思ひます。
0:29:03	はい、願ひします。つまりだからそんな膨大なんだけど、上の行堆積物が規定上のほうで基礎が差益加工たまる時にも構造堆積構造がこう見られているようなところから地層境界に当たるってことを言われてるんですか。
0:29:21	そういうことで、
0:29:23	はい。
0:29:27	言われてることだと思ひます。はい、理解しました。
0:29:49	でした。
0:29:50	言ひません。
0:29:52	結局、
0:29:55	それで、
0:30:02	続いてのスガヤですけども、
0:30:06	242 ページの写真のところ、
0:30:12	剥ぎ取りしたところの
0:30:15	全体像が左側の写真があつて、黄色い破線がこれ小断層っていうんですけども、この剥ぎ取った後のところには、右上のところにもちよつと断層が見えているんですけども、

0:30:29	その剥ぎ取った場所っていうのが 240 ページのところに、要は剥ぎ取る前状態させないっていうんですけれども、
0:30:39	140 ページの右側ですね、そこにも黄色い破線で、
0:30:43	小断層が書いてあるんですけれども、
0:30:49	タガミ取った後には相談とか、右上のところにもちょっと出てるんですけれども、剥ぎ取る前の場所に合っていないんですけれども、これ剥ぎ取ってみて、できたというふうに、そういう理解です。
0:31:04	こちら、
0:31:07	はい。
0:31:15	140
0:31:19	ワタナベです。240 ページのスガヤさんおっしゃる通りですねこのはぎとり戦車資料作成上の四角が込みの右はじの辺りには上げとる前にも見えてございます。今、線が引かれていないという状況になってございますのでその辺はちょっと
0:31:34	整合をとらせていただきます。
0:31:39	はい、規制庁の菅井です。はい、承知しました後、またスケールの外なんですけども、242 ページのやっぱりこの
0:31:46	左側のほうにはちゃんとスケールがもともと写真撮る書いてあるんですけれども、一緒にササキとかですね、この右側のほうにも可能であれば、
0:31:56	SCALEを入れておいていただけるとありがたいんですけど、そういった箇所が多分この参照の
0:32:02	ところが、いろいろ沢山あると思うんで、ちょっと
0:32:07	所とに関する
0:32:13	ワタナベ写真なんになってしまうので、おおよそのスケールという頼りになるようなものをつけるような形で対応させていただければと思います。
0:32:24	はい、お願いします。
0:32:37	はい。
0:32:38	はい。
0:32:39	それではちょっと進みまして南側のほうなんですけど、最初に確認なんですけど、南側壁面っていうのは、氷進めなどを行ってなくて、海側の側面っていうところも観察を加えて、こういう理解でよろしいですか。
0:32:56	はい、そうなります。
0:32:58	はい。
0:33:07	もう一つ、海側壁面のところはちょっと飛ばして強く私とか 256 ページをお願いします。

0:33:18	これは今まで見せていただいた件は 4-よりさらに多くの方の件は今回つけたってということだと思っんですけども。
0:33:28	先ほどもすぐく部のところでちょっとお話に出たM1 改正するというふうにとるところにはこういう黒いポツポツがもう見えてる。
0:33:39	今これ何かっていうのが一応確認としてお聞きします。まあそういったものが多い少ないという境界辺りが黄色い破線の創造協会っていうふうに見えてるよように思っんですけど、本来ならば、
0:33:55	あともう一つは、持ち分は当初から見てたそのM1 ユニットに関してはちょっと濃淡で行って
0:34:05	いろんなことがあるとしてこういうような特徴があったと思っんですけど、それから西縁部っていう説明の話も困ってきてTn3 ユニットの
0:34:16	下部ですね、そういった部分にも読んでるってことなんですけど、この農家の差っていうのは何なのか、
0:34:27	予算の方で考察等が 30 でしょ。このPOS黒ポツの店頭の担当さんお願いします。
0:34:57	4000 先にですね、黒い部分の話を見せていただきます。こちらは先ほど申し上げた通りになるんですけども。
0:35:06	これが酸化鉄参加マンガン多い多く含まれる箇所、これを示してるものじゃないかというふうには考えてございます。組織長の違いについては、お待ちください。すいません。
0:35:23	電中研の佐々木です。
0:35:25	これ露頭の観察、或いは薄片を眺めると
0:35:32	濃淡の差っていうのはその基盤が由来の粒子の量の違いだというふうを考えてます。白っぽい粒がその凝灰岩であって、凝灰質なものであったり或いは
0:35:45	のただ何起源のものっていうのが結構あり遠いので、
0:35:52	統計的に数えたわけではないのですが、その露頭観察した限りだとそういった粒子の違いがこの濃淡にあらわれてるというふうを考えている。
0:36:04	規制庁でもですね、今は草恵まれたのはBS3 行は、のためには復水ちょっと白っぽく見えるんだけど、それについては、Ts-3。
0:36:15	全員でないケース 3 ユニットの中の総組織みたいなものの特徴が反映されて、こういうものができるのかっていうことを言われてるんですけども。
0:36:30	おっしゃる通り、TSIユニットの中でのその色の差というものを説明しました。
0:36:36	これは国なってるのは政府って言うてる辺りには、
0:36:41	うん。
0:36:43	うーん。

0:36:44	下のM1 ユニット薄まっ等町っていうようなところであるので、そっちの特徴ができるっていうそういう考察よろしいですか。
0:36:56	おっしゃる通り、
0:36:58	はい、わかりました。
0:37:05	申し上げます。
0:37:17	お願いします。
0:37:19	そうですね。さっき飛ばし南側の開削調査箇所 247 号。
0:37:25	一番
0:37:26	249 ページ。
0:37:29	うん。
0:37:31	これってあれなんですよね経験値で、
0:37:35	やった小断層の延長というふうに考えているということですよ。
0:37:43	はい、そうですね、247 ページに俯瞰的な位置関係を示しているかと思うんですけども。
0:37:50	もともと現地調査でお見せしていたのが南側壁面のほうにオレンジの破線で書いてある町断層、これの連続走行方向の連続としまして、海側壁面というこの間までフリーフレームが貼ってあった箇所。
0:38:06	これらについては、この天端付近を連続的に確認する観点で売れもとった際に新たに出現してきたというものです。わかりましたと。
0:38:17	ちょっと2点ほど確認したくても、なんかはもう同じ感想なんだけど、前に溜めるから見ると結構直線的にわかってたんだけど、こっち側の面で言うと、かなり高うねったようなものとなっているのは何戸販売があるのかって言っていると。
0:38:34	上載層の込んでですね、
0:38:39	例えば2-50 ページの上のほうから資料を
0:38:46	実装等、
0:38:48	加速の地層っていうのが、これは何が違うんですかとか、設けるようなものでもなくて生育も1000個あるのか、ちょっとだけあるんですかねこれ混載部っていうのは、断層向いまではいってないんですか。
0:39:06	ちょっとこの辺の
0:39:08	地層の区分というのを考えてるのか教えてください。
0:39:18	電中研の佐々木です。まず1点目のどうしてた総額200や曲がってるかっていうことに関しましては、今断層の走向が今この海側壁面と呼んでいる壁面の面的面自体の向きと。
0:39:35	ちょっと近いも関係で、売れて見えます。これをちょっと
0:39:42	そういうことで、

0:39:51	はい。方向考えの確認。
0:39:53	できました。それが前の地層が、これも設けるようなものではなくて、同じようなもので、色調違いは何だ。
0:40:01	何が違うんですか。
0:40:24	赤のプロット特に準備してなければいいんですが、先ほど専務が断層の直上にはないってことでいいんですかね。
0:40:34	今繊維部は白っぽく見えてるところのした黄色い線の間にはスープあるっていうふうには考えています。
0:40:47	ですね、そういうことであれば 252 ページとかに
0:40:53	なぜ書かないんですかね。
0:40:56	多分ここに 152 ページで、なかなかこのかけるってことですか。
0:41:04	協会が微妙なので机上に書きにくいんですが、書こうと思えばかけます。
0:41:11	はい。ちょっとその辺はあるのかなのかとか、指摘にも関わることだと思いますのではっきりはっきり書けないんだったらかけないでもいいんですけど、この辺にありそうだとかわかんなくなってるんだとかいうのをお考えをちゃんと
0:41:27	落として欲しいなというところ。
0:41:30	考えてますので、50 ページ、
0:41:33	はい、了解しました。
0:41:40	整備部が分かれてるんですよ。
0:41:43	だけどこれ断層との関係でも、
0:41:50	ちょっとですね。
0:41:52	260 ページの服部権者資料お願いします。
0:42:00	はい。
0:42:01	確認なんですけど、
0:42:04	黄色の点線に書かれている所断層をまず NEA 側にも今ポンプとかもう報告大筋が見えて、
0:42:14	見えてるんですけども、こういうの
0:42:17	小断層ではないっていうふうにお考えなんでしょうか。
0:42:43	取り進め、260 ページの黄色の点線で引いてる小断層の左っ側にちょっと断続的にはっていうねっちはいるんですけど、同じような数字のように見えるものがあるかと思うんですけど。
0:42:58	それも小断層ではないっていうふうに判断した理由等があればお願いします。
0:43:10	ワタナベです。

0:43:12	左側に見えるものなんですけれども、シルトも何も挟在していないも面構造が全く見えていないものになりますので、こちらについては、小断層じゃないと判断してございます。
0:43:32	はい、と千里というそのスタッフも全然性状の違うものって断層ではないっていう御説明だったと思います。
0:43:55	はい。
0:43:59	すみません、ナイトウですけども、YKTで256ページの各機器囲いの中でも、
0:44:08	出して欲しいと思ったんですけど。
0:44:10	二つポツが鉄筋管推さんユニットを規定した小断層変位が認められないと金融資産一定剪断面は認められないって書いてあるけど、
0:44:22	これってさ、途中で攻めとしても同じ結論なんだけど、皆さん、どういうふうを考えて、
0:44:35	はい。
0:44:40	もっとユーティリティMIユニット9で小断層が選別しても、この二つのポツの書き方は変わらないんだけど、
0:44:49	皆さんの解釈というのがありますか。
0:44:56	はい、ワタナベです。おっしゃる通りちよっと書き方が悪いですね、浸食面に切られているという情報が入っていないと思います。その辺を加筆させてください。
0:45:11	はい。品種名そうシートには相当協会で機械てるところだと思うんですけど、これ相当公開に切られてるっての何をもって判断してですか。
0:45:38	はい、ワタナベ256ページの層境界の付近見ていただくと、右下から上がってくる長断層が北方外挿層境界のところだと、
0:45:49	られているところが明瞭かと思っております。これは4月の審査会合でもペットCTなどもお示したと思うんですけども、応答境界を境にこのある太さを持った小断層が明確にアップ切れてなくなっているといったところが、御説明させていただいたところです。このあたりをもって、侵食されているということ。
0:46:08	説明してございます。
0:46:11	ただし、
0:46:13	はい。
0:46:16	あのね、切られているっていうのは何をもって早々境界まで届いていると見ているとか、物差しだけで届いてるかどうかわからない。
0:46:27	皆さんはこの冊子を見て、何をもって、
0:46:31	そうそう協会で切られてるとするののか。
0:46:38	電中研の佐々木です。250ページをお願いします。

0:46:46	250 ページの右側で、この小断層が北から延びて会だあ、これは今ちょっと違う液面ですけれども、
0:46:56	その見かけの鉛直変位量がずっと下から 15cmで続いているというのがわかってますんで、大分断層が相双協会に向かっていったときに、その変位量が例えば
0:47:11	もちろん検討する話なんですけれどもペーパーリング起こしていたり、そういった変位の減衰とかが起こしていたらこのなどさんおっしゃるようにこの相当強化のところでもたまたま止まったんじゃないかというような解釈も可能だと思うんですけども、変位が下からずっとある一定のものが伝わってきているものがこの層境界のところでもた
0:47:31	この辺がなくなっていて、構造としても三次元的にCTで見てあげるとどこをとっても、すべてこの層境界のところでも切られてるように見ると、そういったことがこのTOTO協会によって行わ小断層が切られているというふうに解釈して、
0:47:52	規制庁ナイトウですけれども、何を根拠にしているのかって口頭で聞いてわかったんですけど、それが全部データ出てる。
0:48:02	今言ったササキ下げたやつのは後半は全然停滞がない。
0:48:13	はい。
0:48:29	前回の会合のときの資料ではそういった変位の話も少し触れてありますので、そういったのを今回の資料にちょっと組み込ませてください。
0:48:38	マーケットですけど、変な話にしました。
0:48:43	冊子を見ただけで、この層境界は明確にはわからないので仮定コーヒーといいます結果とこの層境界に断層が動いているのかってのは、このさしていただき除熱わからないんですけど、そこはどう判断して何を根拠に
0:49:01	ここの層境界としていて、断層がそこで切られていてちょっと不足か目指す動いていると判断しているのか、今の集落と全然わからない。
0:49:13	はい、ブロックのCT含めて、一連で説明できるように資料化いたします。
0:49:21	違う
0:49:22	はい、ここで、
0:49:25	結局、
0:49:25	止めに使っているんだけど、ここで全部東京待ってますっていうやつレターはしっかりと充実してもらわないという思いに至らないから。
0:49:35	もちゃんとしっかりと
0:49:38	データをつけた上で効果がこうだから困っていると反発しているんですけどっていう明確に伴いたいんですよね。
0:49:48	ワタナベはい、承知いたしました。資料の充実化させていただきます。



0:49:55	認め
0:49:57	今後、
0:50:01	いや、全くもって、
0:50:10	説明ページです。
0:50:14	よろしければサービスです。
0:50:17	そして、規制と多分ですね、次に終了がすね。
0:50:23	292 の
0:50:26	結果の説明のところお願いします北側における
0:50:31	これはもう早々の観点とか矢印書いてあるんですけど、はっきりさせて欲しいのは、局所的にそのdf-2の局所的な部分だけを見られてるんじゃないで、
0:50:46	TF-2っていうか、見えてる。
0:50:49	露頭として見えてるところ全体を見ていただいて、擾乱っていうものが認められないのかっていう観点で確認をいただきたい。
0:51:00	今料理分け止められるっていうこと自体が大事なんではなくて、多分その用量自体が擾乱を受けてないっていうことを
0:51:08	言わんとし、社員じゃないかと私は思っていたんですけど、そんな形をきちんと書かないと駄目じゃないかなと思います。
0:51:18	そうですねこのTF-2って基本できそうなんだけど、中ですがそうとかが入ってきて混在してるような状況で段目としては、
0:51:30	その部分が書かれてるんですけども、こういったものがこの土地のページに示されているような状況報告及び同修正が擾乱構造ではないっていうふうにEFのかどうかあたりが大事かと思うんですね。
0:51:46	観点で観察されていらっしゃいますでしょうか。
0:51:55	電中研の佐々木です。
0:51:57	今ご指摘なった
0:52:01	F4ユニットの中の
0:52:07	7ですとかといったものについては、
0:52:11	観察を行っております、もしこの地層に乱れがあれば、こういった砂ブロックとかが保持されないであろうと。
0:52:20	少なめコード自体が崩れているんだと6自体がもうそのそもそも歴と砂では
0:52:27	うん。
0:52:29	動き方が違う条例案の時の凍結凍結のときの擾乱時の向きが違うと思いますので、こういった地層、
0:52:38	もう結局高度、堆積構造が乱れてしまうというふうには考えてます。

0:52:45	多分ですと 288 ページに文献レビューされてるような、こういった事例としての効果な構造がわかっているわけですけど。
0:52:55	要は、TF-2. の意見もっていうものがあるかもこういったものではないのかどうかという辺りも説明が必要かと思しますので、そうそうも観点でいうと いえばそういう説明が必要。
0:53:08	それとも言う、あとは震度ですね、左のほうに、ここから 8m 程度、この資料の後段の辺りに現地系統の沢みたいな評価の図も入れてもらってるんで、根拠としての紐付けですね、エビデンスも
0:53:26	ページって意味合いからもやっていただけたらと思います。
0:53:31	よろしいでしょうか。
0:53:35	はい、承知いたしました震度の関係で現地系との関係、確かに参考資料のほうには載ったりしてるんですけども、フィリピン、当該帳に入れて紐づけを明確にさせていただきます。
0:53:48	はい、規制庁当分です。それでどういうふうにならぬ側にあつ 96. まとめが書いてますけど、こちらにつきましては、まず左の流れのほうですね、堆積時期、
0:54:01	これもですね、その技術基準の解説に挟在することから、協議の堆積してもらいます。それいいんですけど、そのあとに起きた表記のときにどうい。
0:54:13	地形のどこかの状況だったのかってあたり考察ですね、そういったものが大事かと思ひますし、また文案、先ほどと同じように整理されてると思ひますので、そんなに御説明効果もぜひ加えて欲しいっていうのと、
0:54:29	あとですね、この文言だったかもしれないんですけど、右の流れも
0:54:35	M1 面にも Ts 最近ユニットにはですね、先ほどのその擾乱っていうのが、
0:54:42	或いは話し合うということな見込みに書いてるっていう欲しいと思ひます。
0:54:48	浸食面について書いてるところをちょっと言わしてもらった。
0:54:52	あと、テフラ分析もされているわけですよ。
0:54:55	先ほども
0:54:58	地層のところを確認してもらいましたけど、Tephra の分析をした上で、そんなに新しい時代の Tephra がまじっていないっていうことがいえるのであれば、こういったところも整理しておいていただきたいと思ひます。
0:55:18	ワタナベですとかぶりの観点につきましては約 96 ページの上の二つ目の囲みで園地形が失われてる部分が多いというところ、その辺の観点の整理は相手しないという形にしてたんですけども、現地系の
0:55:34	どれぐらいの標高あったかというのは、過去の地形図から明確になっていますので、それらを使って、
0:55:40	拝借という観点でとかぶり整理させていただきたいと思ひます。

0:55:47	あとテフラですね、富良野
0:55:49	例えばSPF案があるとかないとかっていう観点でいくと、当該箇所の上位に位置しているTs3 というふうにも 1 も共通なんですけど、八重洲PFやんとFa湾等はないということを確認してございますので、それらを踏まえた
0:56:04	域の堆積時期の
0:56:06	iといったところも入れさせていただきます。
0:56:12	資料。
0:56:16	どうぞ。
0:56:20	はい。
0:56:21	白がお話にあってるか周氷河んところで、
0:56:24	もうちょっとしっかり書いてあるんだけど、重さ未満っていうふう
0:56:36	いうふう
0:56:40	洞爺がまじった引き継ぎ周辺で見つかっていますと、それは時代感も違うのが入っているので、ここが宗教が提供があったと考えていて、
0:56:55	いうのがまず前提にあるんだけど、そこに対して、北電さんはどう考えて、
0:57:01	この二名。
0:57:03	ねそこの部分はどう考えていたそうです。それが 9 評価の可能性が否定できないっていうのであれば、それともぐらいの厚さがあると評価していくか。
0:57:15	その後でそれで 2m最大 2mの関係性を評価していくか。
0:57:21	2 から 3 名以下 3 メートルとなるということを目指しているところまで聞いてもらって、
0:57:27	その後で、
0:57:33	ないと
0:57:35	45m50mぐらい削ってるからないんですが、51 名とか、
0:57:41	という話になったけど、別にもう 11mあってその間のところで、
0:57:47	うーん。
0:57:50	容器等表記バリア表記のところ
0:57:58	それで
0:58:10	全体として環境機
0:58:13	医療機関表記があるという話で皆さん評価でっていうところは、
0:58:19	BMIユニ等が
0:58:22	水抜売ってるでしょ。
0:58:27	そうです、地表までなり、

0:58:29	標記なんか繰り返すわけね。
0:58:31	はい、そうですね、そのところでもってやその影響を受けてというものがあるのかないのかというところが出てこない。
0:58:42	はい、タニ結構そこ行ってるはずなんです。
0:58:47	別に地表だけなんですけど、
0:58:51	古い時代のものであっても、古い自体が環境費で堆積した後に当然表記というのをそれで満たされている可能性はありますよね。
0:59:02	それで満たされているんですから、大変とってください。
0:59:07	一方で外に入っていない。
0:59:10	そこはちゃんとまとめてもらいたい。
0:59:12	わかりました見いだされた満たされてないかの観点と堆積いつの時代にしたのかという観点は書いてるんですけども、今足りてないのがおそらくかぶりとかぶりの話だと思ってございます。これに関してはTs3 堆積以降の状況がどうであったのか。
0:59:28	次の表記或いはその先の表記を迎えたときにどれだけのとかぶりがあったのかということが大事だと思いますので、隣接してるF1 開削箇所の露頭のデータなども踏まえて解釈を入れさせていただきたいと思います。
0:59:45	少し表記に加え、ちょっとわかんないというのが、
0:59:50	PAR
0:59:52	確認したっけ。
0:59:53	はい。
0:59:55	やっています。
0:59:59	ちょっとナイトウですけども、今僕あまり
1:00:04	小さな絵が堆積したとのその上で、どこにどのぐらいっていう話は多分、
1:00:11	答えないけどぐらいあったか。
1:00:14	だってそのあと、
1:00:16	また、環境期利益解析で削られた上でまた堆積してるわけだから、その部分ってどっかを切るぐらいだったのかって、結局細胞わかりませんっていう結論にしかならないと思うので、
1:00:30	そういうのも含めた上であったとしてはこういう特徴があるはずなんだけど、あるのかないのかということですね。
1:00:38	そこをきちんとまとめて欲しい。
1:00:45	はい。電中研ササキです。
1:00:47	スケッチの中のスケッチを全体を見ると、

1:00:52	PFM案とか洞爺とかをごちゃまぜにしたような角れき或いは円礫、そういったものもいろいろまじった堆積物というのが1では緩斜面をつくってしまっていて、それはその他のピットでいろいろと認識してます。
1:01:08	それが最終表記のといったそういうアクション凍結状況が最後の一つであるというふうアクションの堆積物っていうふうに考えていて、
1:01:18	そういったものが、今この位は見えているDF2 ユニットの
1:01:26	これは綺麗な皮具体的てるその直上にあるか、そういった斜面堆積物に近いようなそういったトリプルアクションにより耐えてくるとかあるかっていうと、
1:01:36	現状今見えている開削を調査箇所北側ではず一つとなくって、それで標高 53 mぐらいまでずっとそのといった地層がないというのはわかっていますので、その上にTFのメリットっていうのが溜まってるわけですけども、
1:01:53	これ粒今のところをPFM案とかが出てきてませんので、そういった後の対象機器の堆積物だとは思っていない。
1:02:03	で、その間の表記ではどうかって話なんですけれども、リフラックスのような堆積物が発生したであるMIS6 或いはMIS8 という時代の堆積物が今見えてるかっていうと、今この露頭では見えて壁面では見えてませんので、
1:02:20	まずはこの位。
1:02:23	あるA、
1:02:25	環境機
1:02:29	S97 日水なのかっていうところありますけれども、ある海進の時代に途中で停滞はしつつも、余ったものが、それから無理をして
1:02:41	かなりなったであって、今の地形というのは、この検知計というのが最終を
1:02:48	5月の最終表記の通りフルアクションが作ったようなものだと思いますので、
1:02:54	その間に似たような堆積物がない。
1:02:57	いうことを踏まえると、そのとかどりのあったの議論というのと、今ちょっと言いましたといったそういう落差の堆積物のあるなしというのは絡めて
1:03:09	御説明できる資料作りたいうふうに思ってます。
1:03:14	規制庁においてですけども、無等しただけじゃよくわからないのでしっかり論議をして、
1:03:21	そして、
1:03:24	部署も含めてきちっと
1:03:28	この中に入ってもらえますか。
1:03:32	はい。
1:03:38	もう1点だけ。

1:03:44	さっき、
1:03:46	すみません、単月でちょっと私の方。
1:03:48	304 ページで、前回会合を
1:03:53	踏まえて、写真を撮ってくれたんだと思うんですけど。
1:03:57	結局これの
1:03:59	3、
1:04:02	写真ですね、これが本当に限界なんなんだなんでしょうねというところなんですけど、もともとどんな写真月例えばね変わるのか、そのプリントした家が市の写真。
1:04:19	だから今後Lサイズとかでしかないのか、何か
1:04:23	ここの今の資料で見る限りのこういったものが限界なんだろうかっていうのをちょっと教えてもらえますか。
1:04:33	田辺です。こちらの写真に関しましては願わ現存しておりません。この写真が何かと言うと、報告書に添付されている。
1:04:43	印可シーンの耐える盤サイズのをそのままスキャンして、ここに掲載しているというものになります。
1:04:53	この写真の生データを見てもっと精度よくっていうのもう限界があるっていうことだと1回しましたけど、なんかですね、スケッチ見ると、なんかもとれきがいっぱい書かれてるものがどれにあたるのかなってというのは、
1:05:09	ちょっと会合でも言った通りなんですけど。
1:05:12	今、
1:05:15	詳細に見て、これが限界だっていうことでいいですか。
1:05:22	はい、その詳細に見た上で、当然スケッチとの対応関係というところも意識して今回作っております写真の中に概ね1メートル位置で講師を赤で書いてると思うんですけど、それともスケッチのスケールを極力合わせて、
1:05:39	ため込んだめで、その中で特徴的な引けるものについては、解釈線を孤立したというふうなものになっております。
1:05:50	はい。
1:05:51	細かいほうでも行ったんですけど、この岩盤の上限のこの青い点線、
1:05:58	これも、
1:06:00	そのF4 断層と書いてるのが本当にそこで止まっているのかこの写真のように見てですね、岩盤の上のところでもいいのかなってというのは、
1:06:12	あってもちょっと詳細をいただきたいということだったんですけど、
1:06:18	ここまであったということでありました。はい。
1:06:23	確認できました。

1:06:30	そう。
1:06:35	いや、
1:06:36	うん。
1:06:38	青い線、
1:06:39	はい。
1:06:45	いいですよ。
1:06:47	すみません。
1:06:57	続いて参りますけれども、
1:06:59	全体はちょっと
1:07:05	※のところに使っている。
1:07:08	はい。
1:07:10	一方だし。
1:07:11	ブロック以降なんですけれども、
1:07:15	これ、こっちの何か。
1:07:20	南側側面のところで測定とかでやったデータとかはあるんですけど。
1:07:27	成因セーブかありますよ。
1:07:30	コードを調べた結果として、その辺がちょっとあるんです。
1:07:36	南側壁面のデータということでしょうか。
1:07:40	はいそうです。
1:07:50	176 ページのほうにですね。
1:08:00	昨年の段階で実施した南側壁面での硬度測定結果を再掲しております。こちらについては、ちょっとPS3 ユニットと書いていて、底部がっという形での区分け、
1:08:15	改めての再測定というものは、今回は実施しておりません。
1:08:20	ここまずということでは西縁部があるということもコード行動測ったデータはないということですね。はい。
1:08:39	規制庁ナイトウですけども全部、全体の話をしてたんですけども、スタートのところですね、過去もオッケー説明とかいうのがあるんですけど、これって使ってるの。結局使ってないような気がする。
1:08:54	だけど、使わないんだったら、別に入れなくていいのでも少し
1:08:58	使ってるんですよ。
1:09:01	説明上は特に不要なんですけど振り返りという位置付けで入れたということをもう一つが、前回のラップアップ面談の際に、

1:09:12	劣化部認定の整理を行ってくださいという話がありまして、正式のコメントではないものですから、コメント回答として入れるのはちょっと違うなと思ひまして、この辺のさばき方として、前回の説明内容の中に、
1:09:28	入れさせていただいたという構成にしてみました。言ってるのが 18192021とかその辺りになるんですけども。
1:09:37	この話を整理すると正式コメントじゃないので、2章以降のコメント回答に入れられないので弁閉までの経緯の中に入れるというふうにしております。
1:09:48	一緒の目的としては振り返りとこのラップアップでご指摘を入れ込みたいといったところの思ひです。
1:10:06	いう等は既設のナイトウですけれども、ね。
1:10:11	であればね、もう前回のコメントを踏まえた上でこういう調査をした結果として結論として、どうなったの。
1:10:22	いう形で、
1:10:26	入ってもらったほうがわかりやすい。これ前の方なんだけど、これはこれを見た上で定着しろと何を比較するんですかってのはようわからん。
1:10:36	全体構成ですね。
1:10:40	それはもう
1:10:42	会合までに直してもらえればいいと思うんだけど。
1:10:46	追加したっていうのは、例えば資料を系統間なかったってしましたというだけの話だから、別に前回の資料として書き加え必要はない。
1:10:59	違うんですけど。
1:11:17	ワタナベです。すいません今も御指摘の趣旨確認させてください。現状は一生というものを特に1の1相が4月16日の審査会合での振り返りをしているというものになってくるんですけども、今おっしゃっているのは振り返りをした上で、
1:11:35	影響を受けて、いう調査をして、結果としてこうなりましたっていう一連の流れまで一緒に入れてはどうかという理解でよろしいでしょうか。
1:11:46	いや、弱点溢水がないよね。
1:11:50	マルマル医大今まで前回コメント決定こういう考え方で持ってこういう調査をしましたと。で、その調査結果も踏まえて踏まえれば、こういう結論で不安の活動性がないといけないと思ひて。
1:12:10	そうします前回振替とかそもそも不要ということですね。はい。
1:12:14	うんと
1:12:15	で使っていないですか。
1:12:17	だけど、



1:12:19	説明を使う場合どうぞ。
1:12:21	だから私はそもそもPS3って何だった結果そうなったときのための思い出しという意味で入れておりましたいきなりもユニットから入っちゃうんでなんだったっけそれってなったときに、
1:12:33	これが取れるようにっていう意味でした。
1:12:42	どうぞ。
1:12:43	うん、だからコメント回答が入ってるからとかコメント回答の前のところに放流早々の中で、これを確実に定め充実させるためにこういう調査がありました切り合い出てないかな、キャスクの方がよろしく読みやすいんですけど。
1:13:01	はい。
1:13:05	はい、承知いたしましたのように修正いたします。
1:13:09	はい、なんぼネット
1:13:11	本とかいって欲しいのは、
1:13:36	細かい話でしょうがよ 94 ページのところに関連のところ飾り式のやつってまぜ囲ってるんだけど、これって、
1:13:47	何か意味がよく入っているよう書いてるんだったら色が変わってるのはわからないし、
1:13:56	火山灰分析をした測線だけを示せば、
1:14:00	というような気もするんだけど。
1:14:03	これ、火山灰で冷凍機を調査追加調査で火山灰分析って来年込むところの何か意味があるんです。
1:14:15	ワタナベ熱水またあのこれ過去の経緯があって、測線の基本発生その測線の中で火山灰をやったり流動やったり、いろんな分析がその測線上で発生してたので、特性がスパッと引かれた上でこれはここは火山灰とかって示し方してたんですけども火山灰だけに、
1:14:34	集約されておりますので、ちょっと測線と丸囲みが、
1:14:39	20 なくなってしまって、よくわからなくなっている測線だけで確かに十分だと思えますので適正化いたします。
1:14:50	いろいろ改善されているか定量的な
1:14:55	はい。
1:14:57	その辺はちょっと工夫してください。最後のまとめ資料とかやってきにはまた考えなきゃいけないかと思うんだけど、これだけ等もこのラインって何だろうっていう話になっちゃうっていうようわからないんですねちょっと一つもらった。
1:15:15	ということを
1:15:17	うん。

1:15:19	104 ページ。
1:15:21	105 ページ。
1:15:23	ぜひ、
1:15:24	有機層区分を整理していて 104 ページでこういうふうになんてなっていますとかって。
1:15:32	一番最後が、特徴が類似するという形で一番矢印下の 105 ページの下に書いたんだと。
1:15:40	特徴がってというのはどう特徴が類似していると考えて、
1:15:44	なんかよくわからないんだけど、これは、
1:15:48	どう特徴ですか。
1:15:54	至極ワタナベです。上段の囲みの中で書いていったEsⅢにしろ人使用I-M1を侵食しているであるとか、基質の性状が似ているとかそういったところを包括してる位置という書き方をしているんですけども。
1:16:10	結論の部分で言いたいことがもう少しわかるようになるべきだと思いますので、修正させていただきます。
1:16:18	はい、お願いします。これね、まだ 37 ページと、
1:16:22	多分、今言ったようなところをまずやったということで、違う部分もあるんですよ。書いてある中で、ちょっとここに書いてないけど、後ろのほうで見ると違うというふうになっているところもあるので、皆さんはどれを採用して見てるとしてっという
1:16:37	だから、同じように斜面堆積物と評価してるのかっていうのは、
1:16:44	ここやってもわからない。
1:16:49	だって、少なくとも今日の議論でも、今後、
1:16:55	はい。
1:16:59	はい。
1:17:00	水素があるのは、PSさんだけでほかのPSIにTS1 とあと間起こったところの斜面とそれがないわけですよ。
1:17:12	違いはある中で、何をもって類似してこう判断をして 3 名堆積物としたのかっていうところがわからない。何を採用して何をコミットした全然わからない。
1:17:26	そこは明確にして欲しいんですよ。
1:17:29	承知いたしました。そう確認として各科書いてるんでこの以外にもパークが当然ございまして、薄片の類似性とか火山灰の類似性或いは歴すべきの形状調査の類似性、こういったものすべてを含めてPSさんが 12 と維持するというような結論になるのが、

1:17:46	正しい姿かと思imasのでその辺りの全体像がわかるように修正させていただきます。皆さんでこれがまずだから、この特徴が一緒だからっていうでオミットこれオミットしていたっていう論理構成がちょっとわからないっていうか明確に取得する。
1:18:07	はい、承知しましたわね薄片
1:18:12	薄片 140 ページ以降等も離島p3-10 等々遷移というのは、
1:18:25	やってそれぞれのところにそれぞれいろいろ書いてあるんだけど。
1:18:29	何が同じく何が違うのかってきちっとまとめて書いて欲しいんですよ。
1:18:44	わかりました。先ほどのそうそう確認と同じ趣旨かと思imas。整理します。
1:19:11	若干、
1:19:13	はい。
1:19:20	はい。
1:19:28	今のやつは、
1:19:31	はい。
1:19:36	一応、
1:19:44	あと、260 とか 262 ページ。
1:19:49	これ皆さん繊維があってその下を水位比って言うだろうと思うんだけど。
1:19:57	M&線以降なんで区別をして、
1:20:01	はい。
1:20:02	ここに境界を引いているのか。
1:20:05	ちゃんと
1:20:07	何を根拠にろう協会だとしたのかという根拠をちゃんと書いてもらえませんか。
1:20:14	というのは、断層の変位があって、
1:20:19	断層の上のところについては誘う上を一番上のところで評価していく形その左側とかにを誘う。
1:20:28	もう、途中のこの停止っていうのがあって、ここ何が違うのかってことは何が違うと判断をしてここに来たのか。
1:20:39	きちっと書いてもらって、これも米の話だから、しっかりと入ってもらいたいですけど。
1:20:46	はい、承知いたしました。背後法面からの連続性というところも絡んできますので、その辺りも含めて、
1:20:53	本当に記載させていただきます。
1:21:14	あとF4 か。
1:21:17	F-4 を
1:21:20	結論

1:21:22	会議入ってください。
1:21:25	スケッチ
1:21:27	等の体系を行い決定解釈線を
1:21:31	ヒーター
1:21:33	で、その結果として、
1:21:38	どうだから、不安は、
1:21:40	活動してないっていう結論なんですよ。そこしか書いて欲しいんですけど。
1:21:46	了解いたしました活動性評価のところまで通しでは記載させていただきます。
1:22:00	811名工夫されるというところで止まっちゃっていても、
1:22:08	何で2次系を与え系いないと。
1:22:14	はい。
1:22:16	活動性がないと判断するっていうことなので、
1:22:20	最終的にははい活動性評価が行き着くところになりますので、そこまで4も11も整理します。
1:22:41	で、
1:22:43	当プレートをもとにして読んで、
1:22:48	気がついたとか、そのぐらい今困ってるけどもちょっと我々も痛みをみますと0今のところを直しをすとか使用関わっています。
1:23:15	ホクレンのイズミです。今の指摘を踏まえた修正は廻谷週間ぐらい要する見込みです。
1:25:04	よろしいですかね。
1:25:34	はい。
1:25:35	あと、
1:26:07	はい、わかりました。ちょっとみてどうするかはちょっと考えます。あとで連絡をするようにしますので、
1:26:20	よろしいでしょうか。特になければそちらからもなければ、及びヒアリング資料という形にしたいと思うんですけども。
1:26:29	はい、イズミです。次回の日程等については後程ご連絡ということで結構でございます。
1:26:41	これは、
1:26:44	規制庁タガミです。それでは本日のヒアリングが終了いたします。